

## 第12章 九州とインドネシアの経済関係

### 1. インドネシアの経済概況

国名	インドネシア共和国
面積	約192万km <sup>2</sup> (日本の約5倍)
人口	約2.55億人(2015年、インドネシア政府統計)
首都	ジャカルタ(人口1,017万人:2015年、インドネシア政府統計)
人種	大半がマレー系(ジャワ、スンダ等約300種族)
言語	インドネシア語
宗教	イスラム教 87.21%、キリスト教 9.87%(プロテスタント 6.96%、カトリック 2.91%)、ヒンズー教 1.69%、仏教 0.72%、儒教 0.05%、その他 0.50%(2016年、宗教省統計)
政体	大統領制、共和制
主要産業	製造業(19.9%):輸送機器(二輪車など)、飲食品など 農林水産業(12.8%):パーム油、ゴム、米、ココア、キャッサバ、コーヒー豆など 商業・ホテル・飲食業(15.8%) 鉱業(8.1%):LNG、石炭、錫、石油など 建設(10.5%)、運輸・通信(9.1%)、金融・保険(4.2%)、 行政サービス・軍事・社会保障(3.7%) (カッコ内は2018年における名目GDP構成比)(インドネシア政府統計)

出所：外務省HP「各国・地域情勢」

図表 2-12-1 インドネシアのマクロ経済

	単位	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
実質GDP成長率	前年比(%)	5.0	4.9	5.0	5.1	5.2
名目GDP総額	10億ドル	891	861	932	1,015	1,022
一人当たりGDP(名目)	ドル	3,534	3,368	3,606	3,885	3,871
輸出額	億ドル	1,760	1,504	1,452	1,688	1,801
	前年比(%)	▲ 3.6	▲ 14.6	▲ 3.4	16.3	6.7
輸入額	億ドル	1,782	1,427	1,357	1,570	1,887
	前年比(%)	▲ 4.5	▲ 19.9	▲ 4.9	15.7	20.2
貿易収支	億ドル	▲ 22	77	95	118	▲ 86
対日貿易収支	億ドル	61	48	31	26	15 *
製造業生産指数	前年比(%)	4.8	4.8	4.0	4.3	4.4
失業率	(%)	5.9	6.2	5.6	5.5	5.3
消費者物価指数	前年比(%)	6.4	6.4	3.5	3.8	3.2
直接投資受入額	億ドル	285	293	290	322	293 *
為替レート(1ドル)	ルピア	11,865.21	13,389.41	13,308.33	13,380.83	14,236.94
為替レート(1ルピア)	円	0.009	0.009	0.008	0.008	0.008

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」(令和元年10月)、\*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)より九州経済産業局作成。

## 2. 九州とインドネシアの経済動向

### ●2018年の九州の対インドネシア貿易額

輸出総額： 967億円（前年比11.6%増） →2年連続のプラス

輸入総額： 2,782億円（前年比9.4%増） →4年ぶりのプラス

差引額： ▲1,814億円（前年比▲138億円）

### ●輸出品目（輸出額多い順）原動機、鉄鋼のフラットロール製品、ゴムタイヤ及びチューブ

〈寄与度↑〉原動機（+16.7%）、構造物及び同建築材（+1.6%）

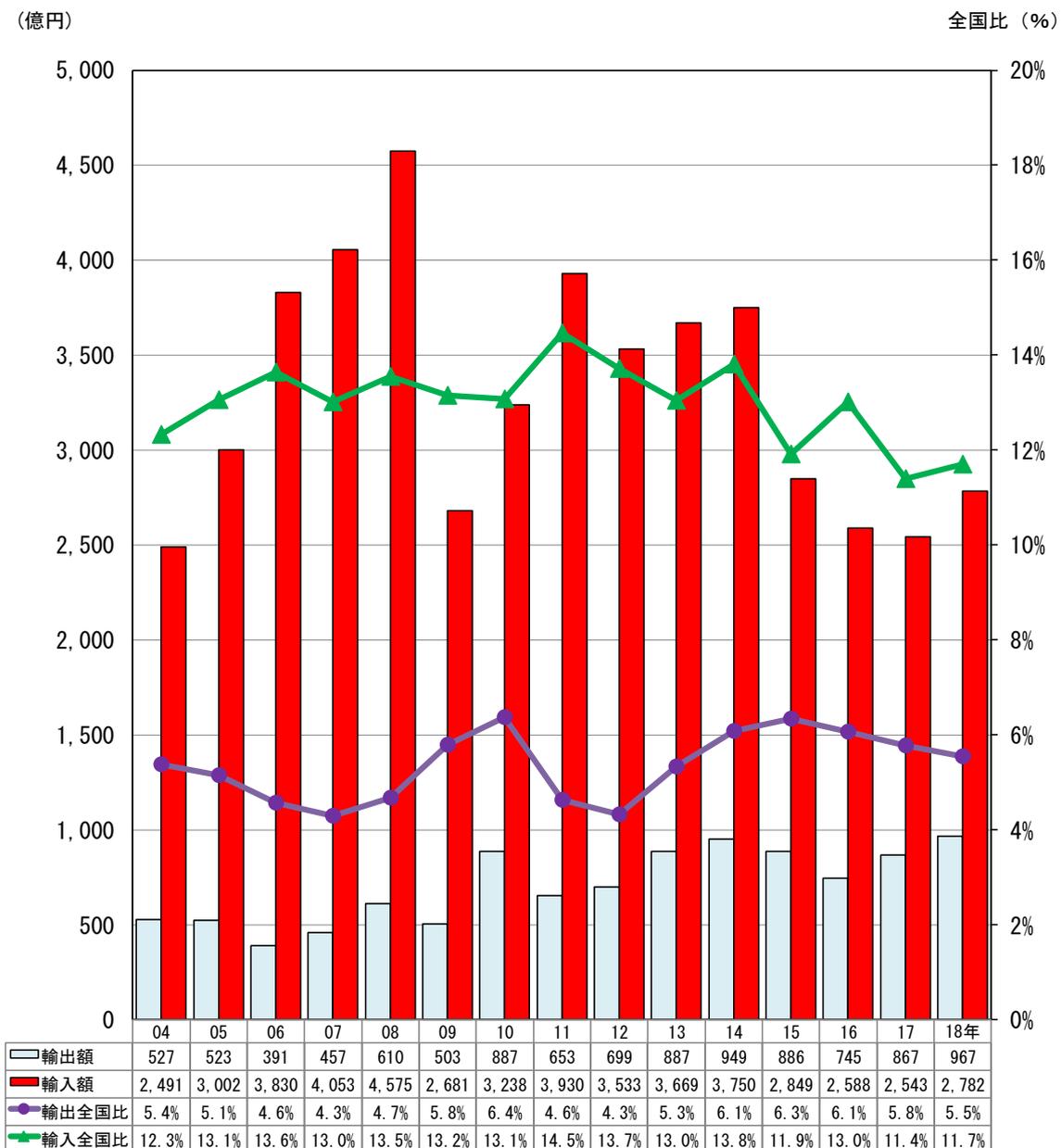
〈寄与度↓〉自動車（▲4.9%）、科学光学機器（▲1.9%）

### ●輸入品目（輸入額多い順）石炭、非鉄金属鉱、天然ゴム

〈寄与度↑〉絶縁電線及び絶縁ケーブル（+1.2%）、石油製品（+1.1%）

〈寄与度↓〉天然ゴム（▲2.9%）、米（▲0.5%）

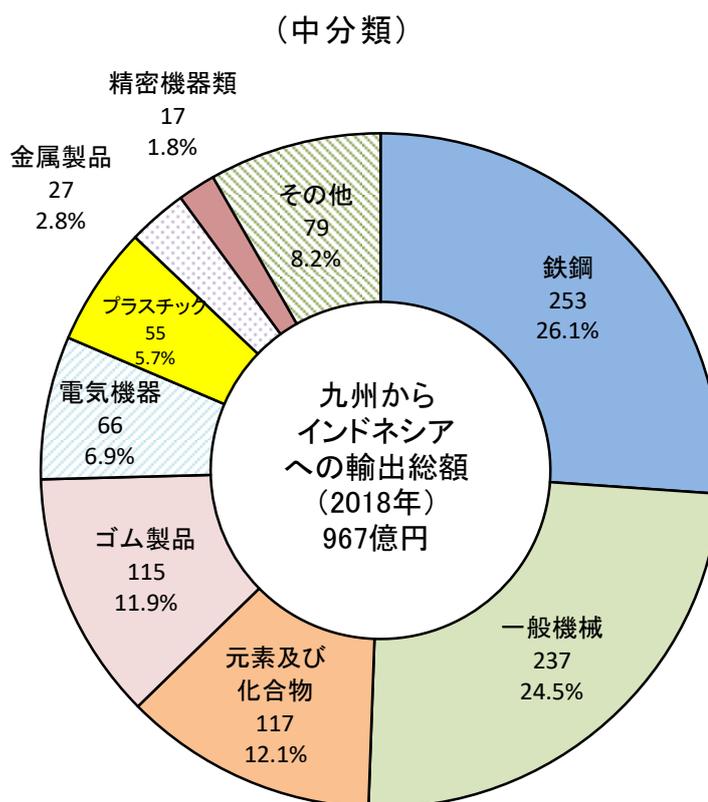
図表 2-12-2 九州の対インドネシア貿易額の推移



出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

図表 2-12-3 九州からインドネシアへの輸出品目

(単位：億円、%)



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
原動機	一般機械	205	21.2%	236.8%	13.1%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	181	18.7%	1.7%	13.4%
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	113	11.7%	▲7.1%	43.8%
有機化合物	元素及び化合物	78	8.1%	▲12.8%	22.6%
鉄鋼の棒・形鋼及び線	鉄鋼	60	6.2%	7.7%	15.8%
無機化合物	元素及び化合物	39	4.0%	15.6%	24.5%
半導体等電子部品	電気機器	28	2.9%	17.7%	10.4%
構造物及び同建設材	金属製品	22	2.3%	173.3%	58.5%
科学光学機器	精密機器類	17	1.8%	▲48.1%	10.3%
通信機	電気機器	12	1.3%	▲41.2%	18.6%
その他		211	21.8%	-	-
<b>総 額</b>		<b>967</b>	<b>100.0%</b>	<b>11.6%</b>	<b>5.5%</b>

寄与度 (増加分)：原動機 (+16.7%)、構造物及び同建設材 (+1.6%) 等

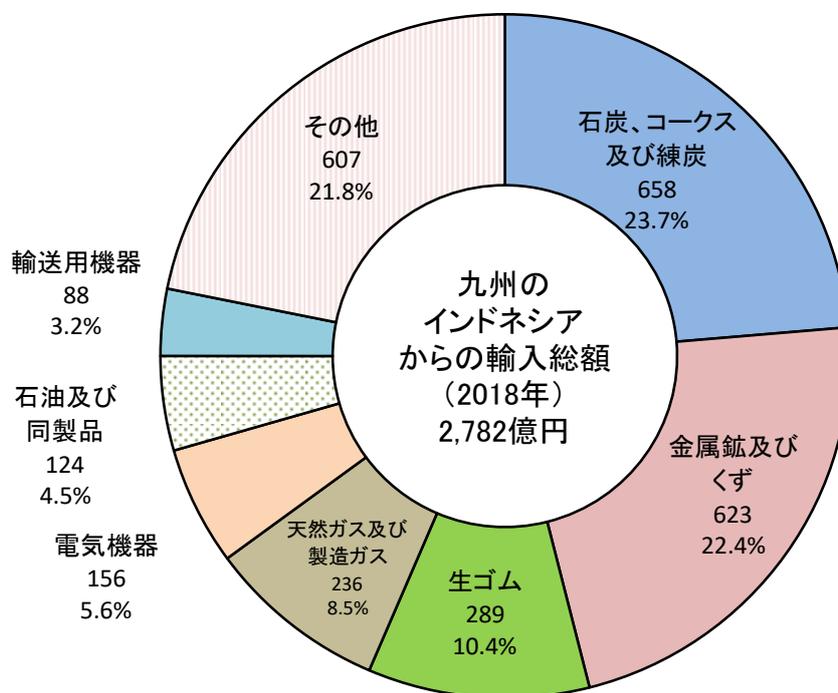
寄与度 (減少分)：自動車 (▲4.9%)、科学光学機器 (▲1.9%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-12-4 九州のインドネシアからの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



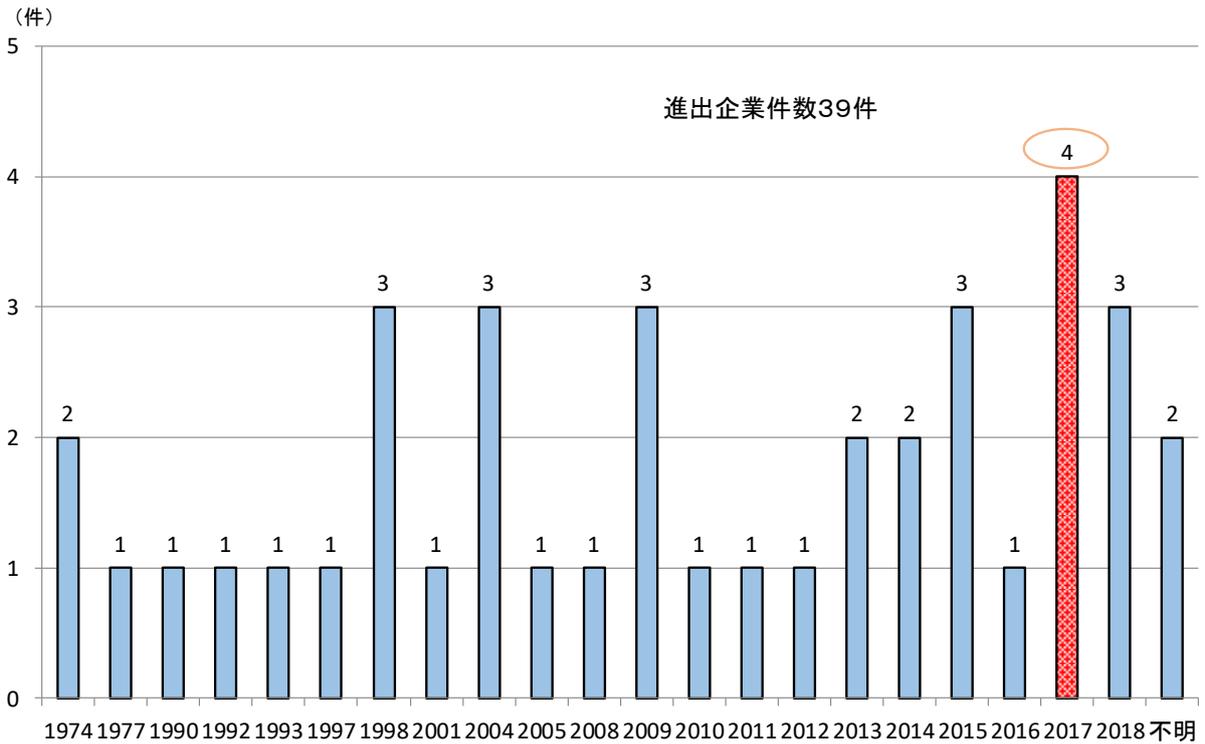
主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
石炭	石炭、コークス及び練炭	658	23.7%	34.0%	18.8%
非鉄金属鉱	金属鉱及びくず	612	22.0%	120.6%	23.8%
天然ゴム	生ゴム	289	10.4%	▲17.4%	37.0%
石油ガス類	天然ガス及び製造ガス	236	8.5%	▲46.3%	8.0%
原油及び粗油	石油及び同製品	124	4.5%	▲15.4%	18.2%
絶縁電線及び絶縁ケーブル	電気機器	108	3.9%	52.8%	10.4%
自動車の部分品	輸送用機器	83	3.0%	11.8%	25.1%
すず及び同合金	非鉄金属	65	2.3%	2.7%	20.3%
魚介類	業界類及び同調製品	57	2.0%	▲30.7%	11.0%
植物性油かす	飼料	55	2.0%	91.4%	50.5%
その他		495	17.8%	-	-
総 額		2,782	100.0%	9.4%	11.7%

寄与度 (増加分) : 非鉄金属鉱 (+13.2%)、石炭 (+6.6%) 等

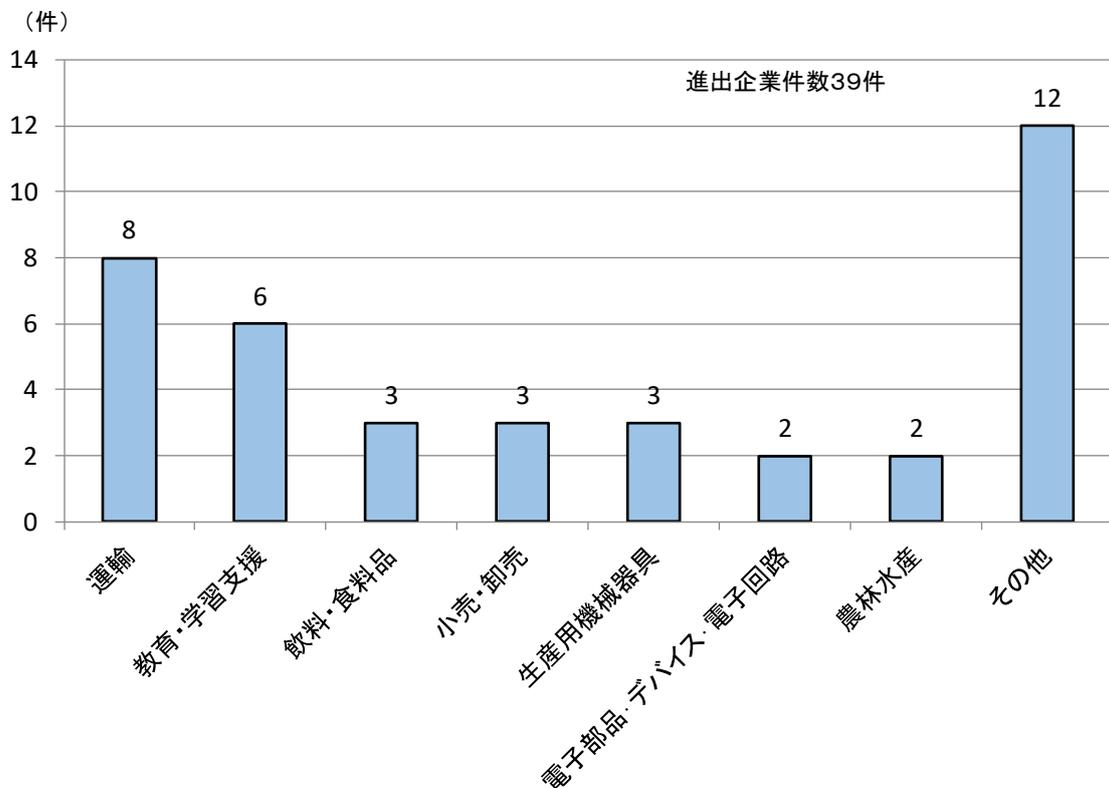
寄与度 (減少分) : 石油ガス類 (▲8.0%)、天然ゴム (▲2.4%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-12-5 九州企業のインドネシアへの進出件数の推移



図表 2-12-6 インドネシアに進出した九州企業の業種別内訳



図表 2-12-5～6 出所：(公財)九州経済調査協会「九州・山口地場企業の海外進出 2018」より九州経済産業局作成。

## 第13章 九州とミャンマーの経済関係

### 1. ミャンマーの経済概況

国名	ミャンマー連邦共和国
面積	約68万km <sup>2</sup> (日本の約1.8倍)
人口	5,141万人(2014年9月(ミャンマー入国管理・人口省発表))
首都	ネーピードー
人種	ビルマ族(約70%)、その他多くの少数民族
言語	ミャンマー語
宗教	仏教(90%)、キリスト教、イスラム教等
政体	大統領制、共和制
主要産業	農業、天然ガス、製造業

出所：外務省HP「各国・地域情勢」

図表 2-13-1 ミャンマーのマクロ経済

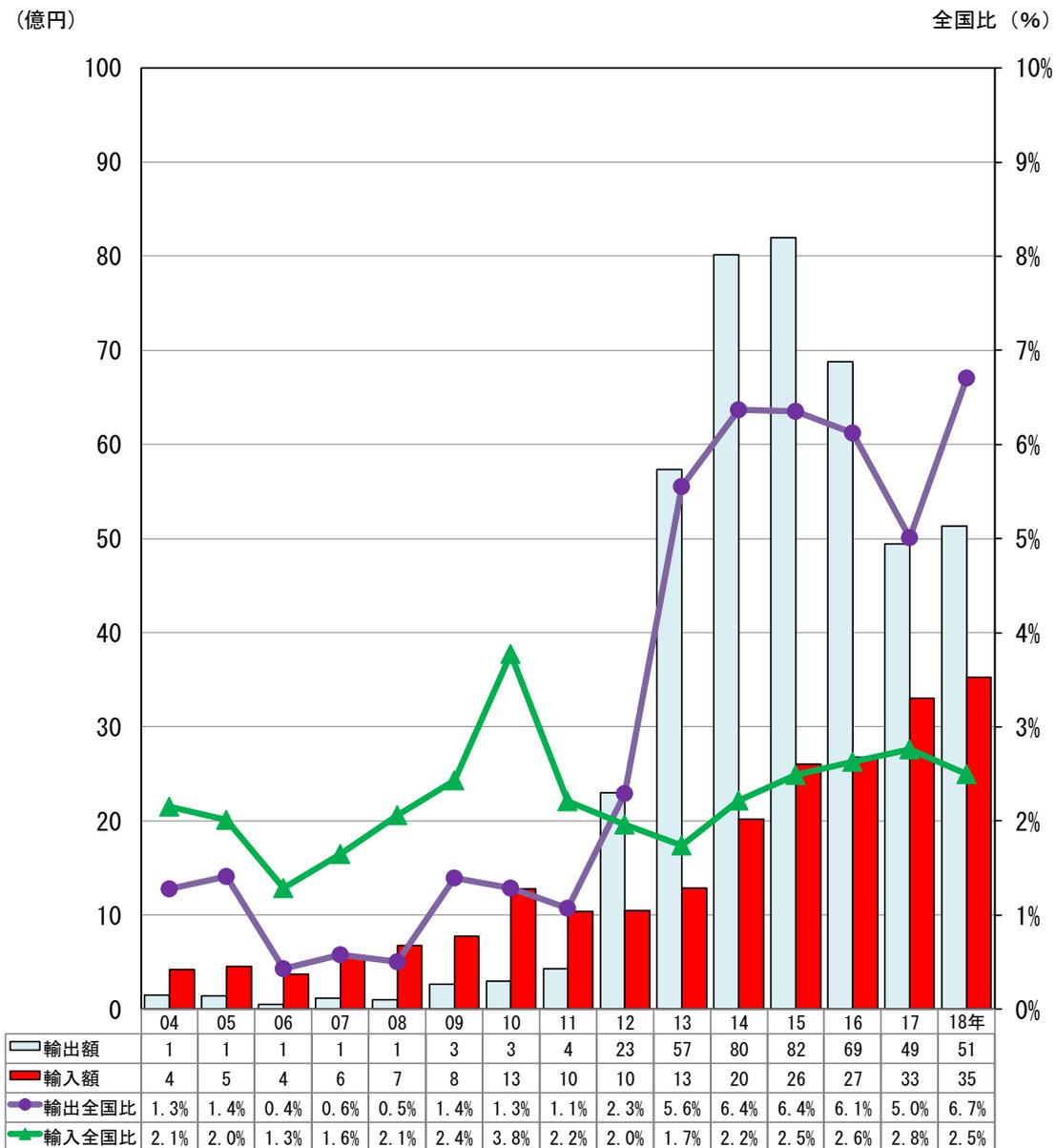
	単位	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
実質GDP成長率	前年比(%)	8.2	7.5	5.2	6.3	6.7
名目GDP総額	10億ドル	63.3	63.2	60.5	61.4	68.6
一人当たりGDP(名目)	ドル	1,231	1,219	1,157	1,166	1,298
輸出額	億ドル	114.1	114.4	118.4	138.9	167.8
	前年比(%)	▲ 0.4	0.2	3.5	17.4	20.8
輸入額	億ドル	163.4	169.9	157.2	192.5	194.4
	前年比(%)	34.9	4.0	▲ 7.5	22.5	1.0
貿易収支	億ドル	▲ 49.3	▲ 55.6	▲ 38.8	▲ 53.6	▲ 26.6
対日貿易収支	億ドル	▲ 10.7	▲ 11.0	▲ 5.9	▲ 1.5	6.9
消費者物価上昇率	(%)	5.1	9.5	7.0	4.6	6.9
失業率	(%)	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
直接投資受入額	億ドル	21.75	40.84	32.78	40.02	—
為替レート(1ドル)	チャット	984.35	1162.62	1234.87	1360.36	1429.81

出所：ジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)より九州経済産業局作成。

## 2. 九州とミャンマーの経済動向

- 2012年以降、欧米諸国による制裁措置が緩和され、貿易額が大きく増加した。
- 2018年の九州の対ミャンマー貿易額
  - 輸出総額： 51億円（前年比3.8%増） → 3年ぶりのプラス
  - 輸入総額： 35億円（前年比6.7%増） → 6年連続のプラス
  - 差引額： 16億円（前年から横ばい） → 7年連続の輸出超過
- 輸出品目（輸出額多い順）荷役機械、自動車、鉄鋼のフラットロール製品
  - 〈寄与度↑〉荷役機械（+45.6%）、鉄鋼のフラットロール製品（+8.1%）
  - 〈寄与度↓〉自動車（▲45.7%）、ゴムタイヤ及びチューブ（▲2.8%）
- 輸入品目（輸入額多い順）衣類、メリヤス編み及びクロセ編み衣類、野菜
  - 〈寄与度↑〉衣類（+4.5%）、魚介類の粉、ミール及びペレット（+1.4%）
  - 〈寄与度↓〉天然ゴム（▲1.4%）、野菜（▲1.0%）

図表 2-13-2 九州の対ミャンマー貿易額の推移

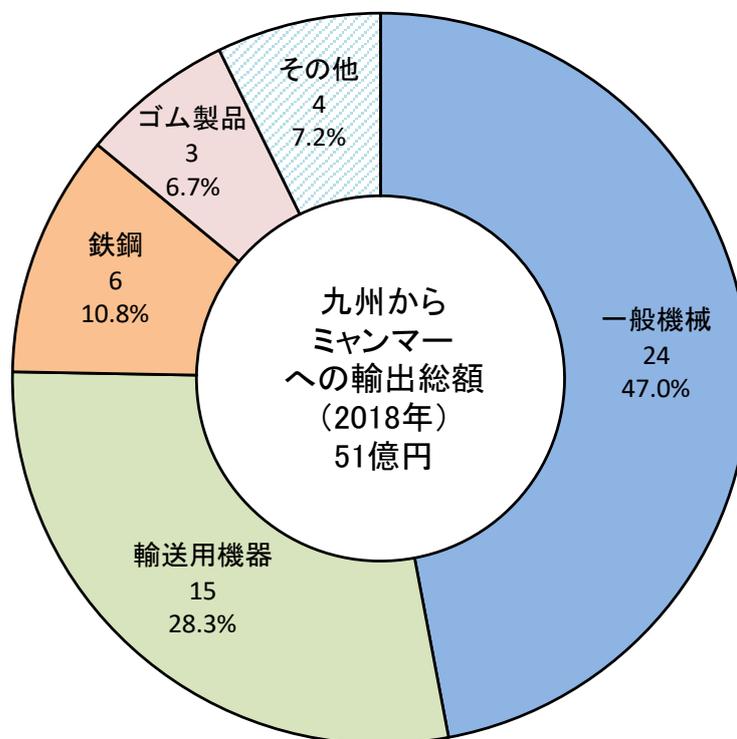


出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

図表 2-13-3 九州からミャンマーへの輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
荷役機械	一般機械	23	44.1%	28175.8%	63.2%
自動車	輸送用機器	14	27.0%	▲62.0%	5.2%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	6	10.8%	269.2%	28.3%
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	3.4	6.7%	▲28.6%	48.6%
建設用・鉱山用機械	一般機械	0.9	1.7%	379.4%	3.3%
二輪自動車類	輸送用機器	0.6	1.2%	64.1%	6.0%
プラスチック製品	その他の雑製品	0.5	1.0%	873.2%	7.3%
映像機器	電気機器	0.4	0.8%	43.6%	7.4%
有機化合物	元素及び化合物	0.4	0.7%	▲72.4%	26.6%
紙及び板紙	紙類及び同製品	0.3	0.6%	▲16.0%	2.1%
その他		3	5.4%	-	-
総 額		51	100.0%	3.8%	6.7%

寄与度 (増加分)：荷役機械 (+45.6%)、鉄鋼のフラットロール製品 (+8.1%) 等

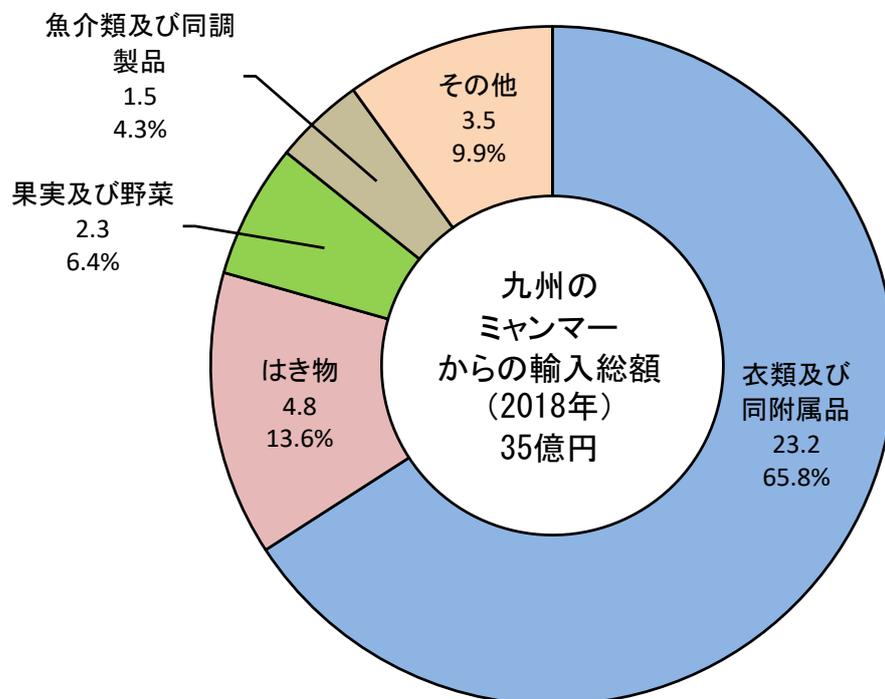
寄与度 (減少分)：自動車 (▲45.7%)、ゴムタイヤ及びチューブ (▲2.8%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-13-4 九州のミャンマーからの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



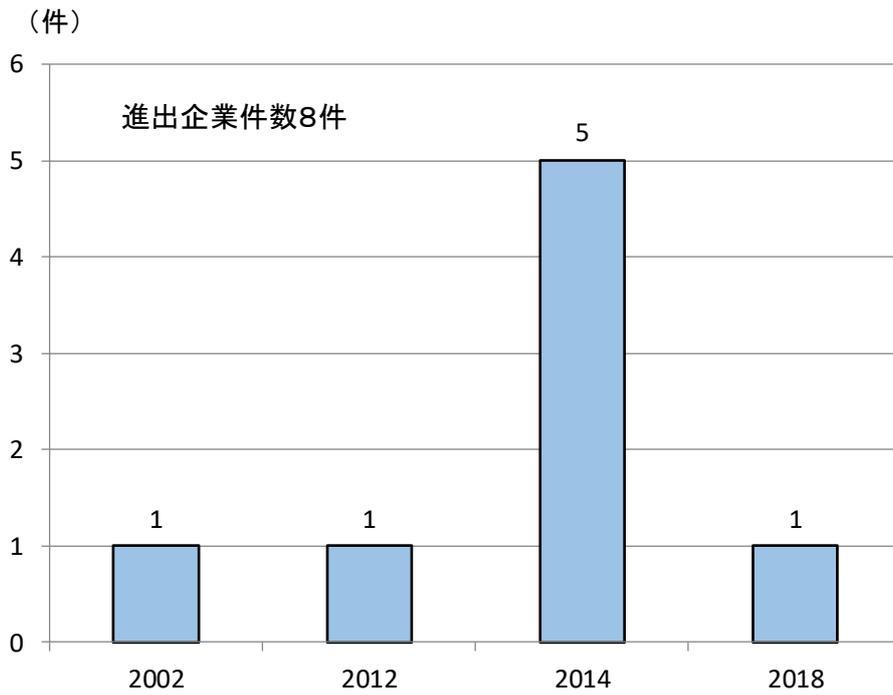
主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
衣類	衣類及び同附属品	19.6	55.5%	8.2%	2.5%
メリヤス編み及びクロセ編み衣類	衣類及び同附属品	3.7	10.4%	0.5%	1.7%
野菜	果実及び野菜	2.3	6.4%	▲12.7%	6.7%
魚介類	魚介類及び同調製品	1.2	3.5%	39.0%	2.3%
その他		8.5	24.2%	-	-
総額		35	100%	6.7%	2.5%

寄与度 (増加分) : 衣類 (+4.5%)、魚介類の粉、ミール及びペレット (+1.4%) 等

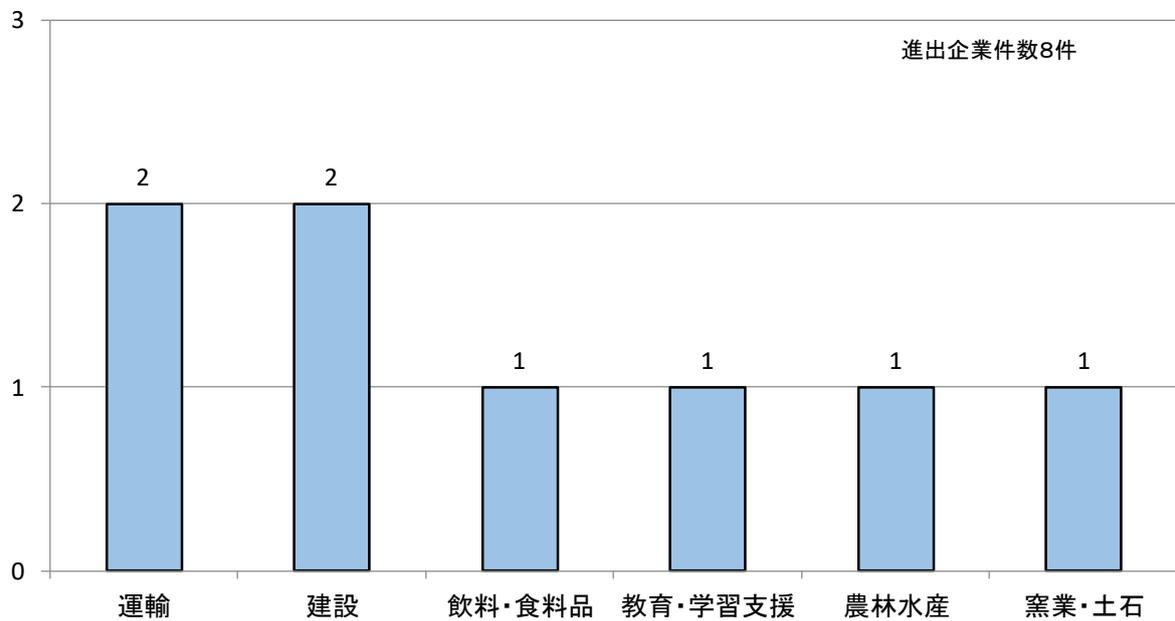
寄与度 (減少分) : 天然ゴム (▲1.4%)、野菜 (▲1.0%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-13-5 九州企業のミャンマーへの進出件数の推移



図表 2-13-6 ミャンマーに進出した九州企業の業種別内訳



図表 2-13-5～6 出所：(公財)九州経済調査協会「九州・山口地場企業の海外進出 2018」より九州経済産業局作成。

## 第14章 九州とインドの経済関係

### 1. インドの経済概況

国名	インド
面積	328万7,469km <sup>2</sup> (インド政府資料:パキスタン、中国との係争地を含む)(2011年国勢調査)
人口	12億1,057万人(2011年国勢調査) 人口増加率17.68%(2011年国勢調査)
首都	ニューデリー
人種	インド・アリア族、ドラビダ族、モンゴロイド族等
言語	連邦公用語はヒンディー語、他に憲法で公認されている州の言語が21
宗教	ヒンドゥー教徒79.8%、イスラム教徒14.2%、キリスト教徒2.3%、シク教徒1.7%、仏教徒0.7%、ジャイナ教徒0.4%(2011年国勢調査)
政体	共和制
主要産業	農業、工業、鉱業、IT産業

出所：外務省HP「各国・地域情勢」

図表 2-14-1 インドのマクロ経済

	単位	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
実質GDP成長率	前年比(%)	7.4	8.0	8.2	7.2	6.8
名目GDP総額	10億ドル	2,039	2,104	2,290	2,652	2,719
一人当たりGDP(名目)	ドル	1,610	1,640	1,762	2,014	2,038
輸出額	億ドル	3,104	2,623	2,759	3,027	3,299
	前年比(%)	▲ 1.3	▲ 15.5	5.2	9.7	9.0
輸入額	億ドル	4,480	3,810	3,844	4,647	5,140
	前年比(%)	▲ 0.5	▲ 15.0	0.9	20.9	10.6
貿易収支	億ドル	▲ 1,377	▲ 1,187	▲ 1,085	▲ 1,620	▲ 1,841
対日貿易収支	億ドル	▲ 47	▲ 52	▲ 59	▲ 62	▲ 79 *
鉱工業生産指数	前年比(%)	4.0	3.3	4.6	4.4	3.8
失業率	(%)	2.8	2.8	2.7	2.6	2.6 *
消費者物価指数(全国)	前年比(%)	5.9	4.9	4.5	3.6	3.4
直接投資受入額	億ドル	353	449	422	394	433 *
為替レート(1ドル)	ルピー	61.03	64.15	67.20	65.12	68.39
為替レート(1ルピー)	円	1.74	1.89	1.62	1.72	1.62

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」(令和元年10月)、\*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)より九州経済産業局作成。

## 2. 九州とインドの経済動向

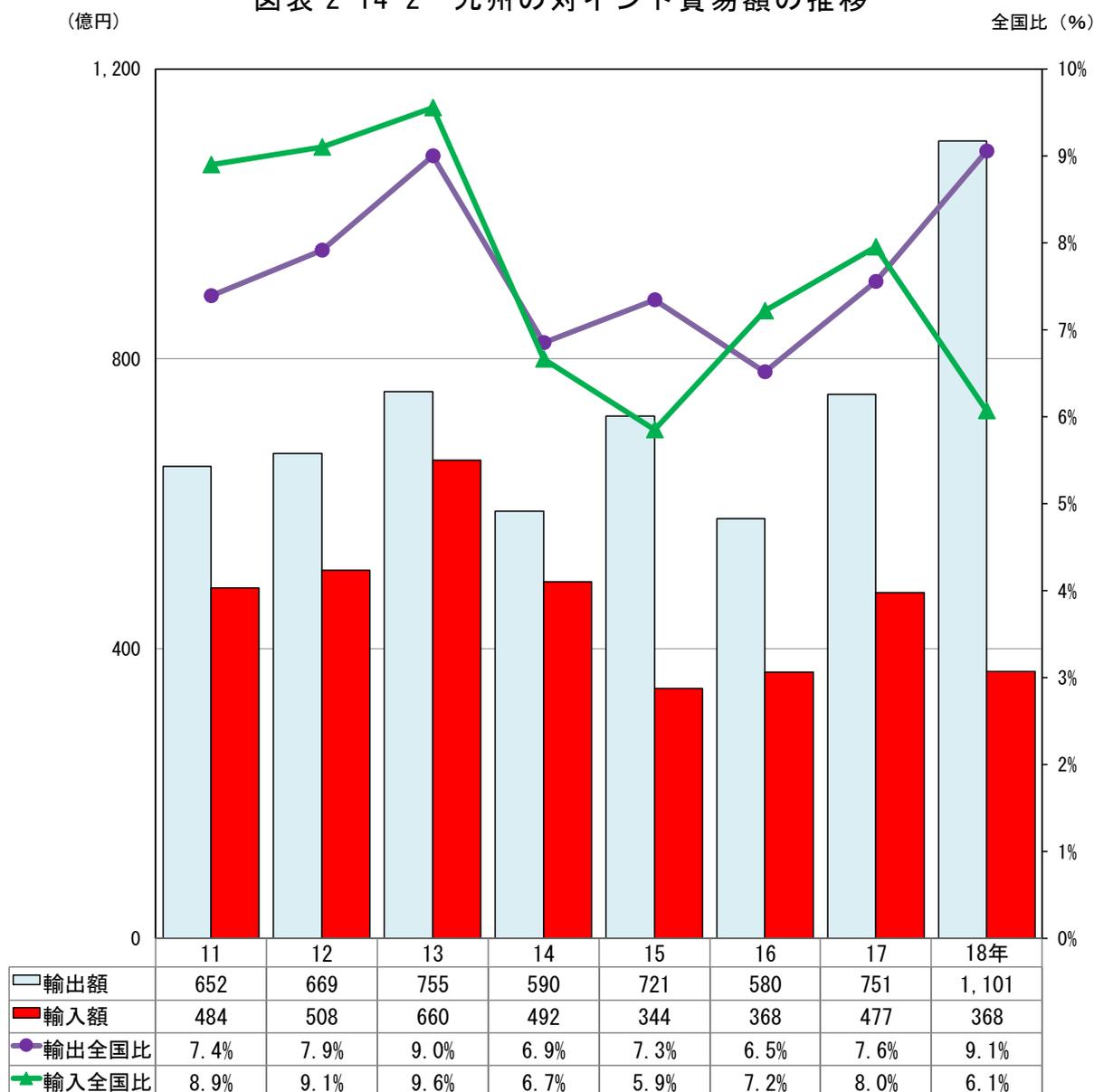
### ● 2018年の九州の対インド貿易額

輸出総額：1,101億円（前年比46.6%増） → 2年連続のプラス  
 輸入総額：368億円（前年比22.8%減） → 3年ぶりのマイナス  
 差引額：732億円（前年比+459億円） → 前年比59.5%増、過去最大

● 輸出品目（輸出額多い順）鉄鋼のフラットロール製品、銅及び同合金、コークス  
 〈寄与度↑〉銅及び同合金（+22.8%）、石油製品（+9.8%）  
 〈寄与度↓〉コークス（▲3.3%）、加熱用・冷却用機器（▲1.1%）

● 輸入品目（輸入額多い順）石油製品、植物性油かす、魚介類  
 〈寄与度↑〉アルミニウム及び同合金（+2.3%）、魚介類の粉、ミール及びペレット（+1.0%）  
 〈寄与度↓〉石油製品（▲23.1%）、植物性油かす（▲4.3%）

図表 2-14-2 九州の対インド貿易額の推移

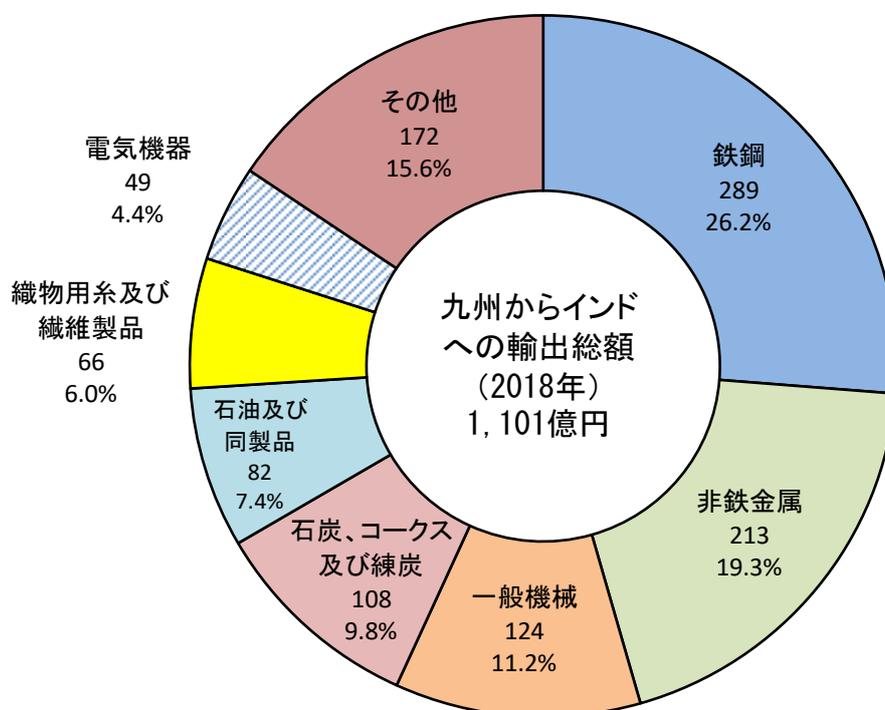


出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-14-3 九州からインドへの輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	225	20.4%	19.7%	22.1%
銅及び同合金	非鉄金属	210	19.1%	439.7%	41.9%
コークス	石炭、コークス及び練炭	108	9.8%	▲18.8%	76.7%
石油製品	石油及び同製品	82	7.4%	928.8%	57.2%
織物用糸	織物用糸及び繊維製品	62	5.6%	3.9%	77.3%
軌条及びその他の鉄道線路建設材	鉄鋼	55	5.0%	141.9%	72.1%
原動機	一般機械	46	4.1%	▲13.4%	9.8%
有機化合物	元素及び化合物	37	3.3%	2.7%	8.7%
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	28	2.6%	39.0%	65.0%
金属加工機械	一般機械	28	2.6%	63.9%	3.9%
その他		221	20.1%	-	-
総 額		1,101	100.0%	46.6%	9.1%

寄与度 (増加分) : 銅及び同合金 (+22.8%)、石油製品 (+9.8%) 等

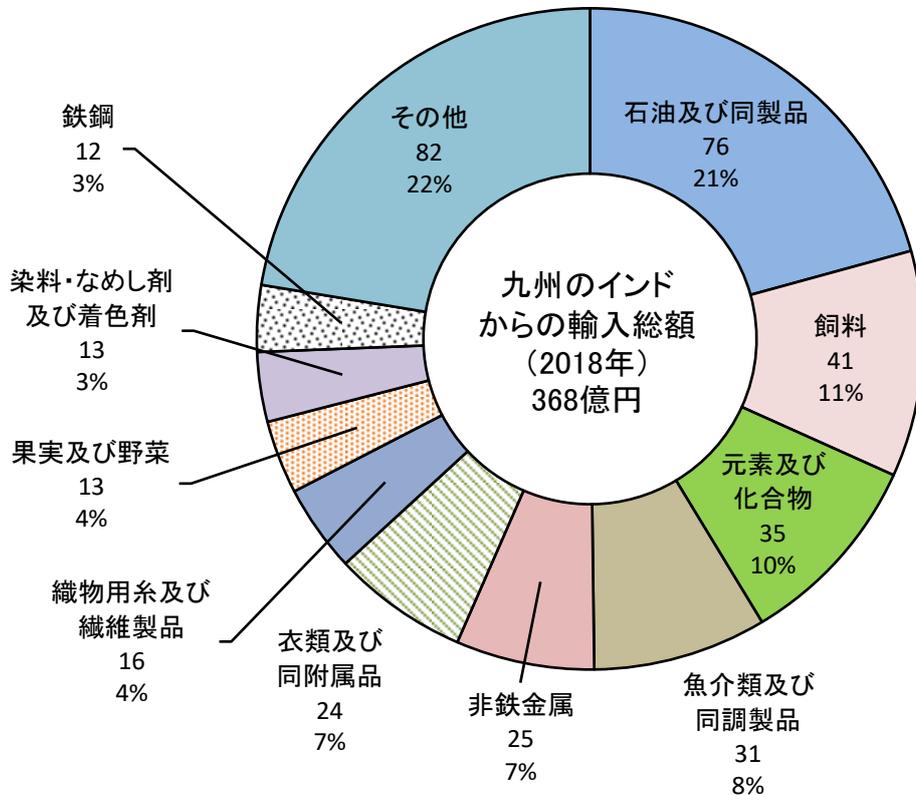
寄与度 (減少分) : コークス (▲3.3%)、加熱用・冷却用機器 (▲1.1%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-14-4 九州のインドからの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
石油製品	石油及び同製品	76	20.7%	▲59.1%	8.2%
植物性油かす	飼料	33	9.1%	▲38.1%	46.6%
魚介類	魚介類及び同調製品	31	8.4%	▲3.5%	6.6%
有機化合物	元素及び化合物	27	7.3%	13.4%	3.7%
衣類	衣類及び同附属品	23	6.1%	13.1%	10.6%
アルミニウム及び同合金	非鉄金属	13	3.6%	490.3%	5.8%
果実	果実及び野菜	13	3.5%	20.5%	12.3%
有機合成染料及びレーキ顔料	染料・なめし剤及び着色剤	12	3.3%	63.1%	14.0%
合金鉄	鉄鋼	12	3.2%	▲9.3%	4.3%
綿花	織物用繊維及びくず	11	2.9%	19.7%	63.8%
その他		117	31.8%	-	-
総 額		368	100.0%	▲22.8%	6.1%

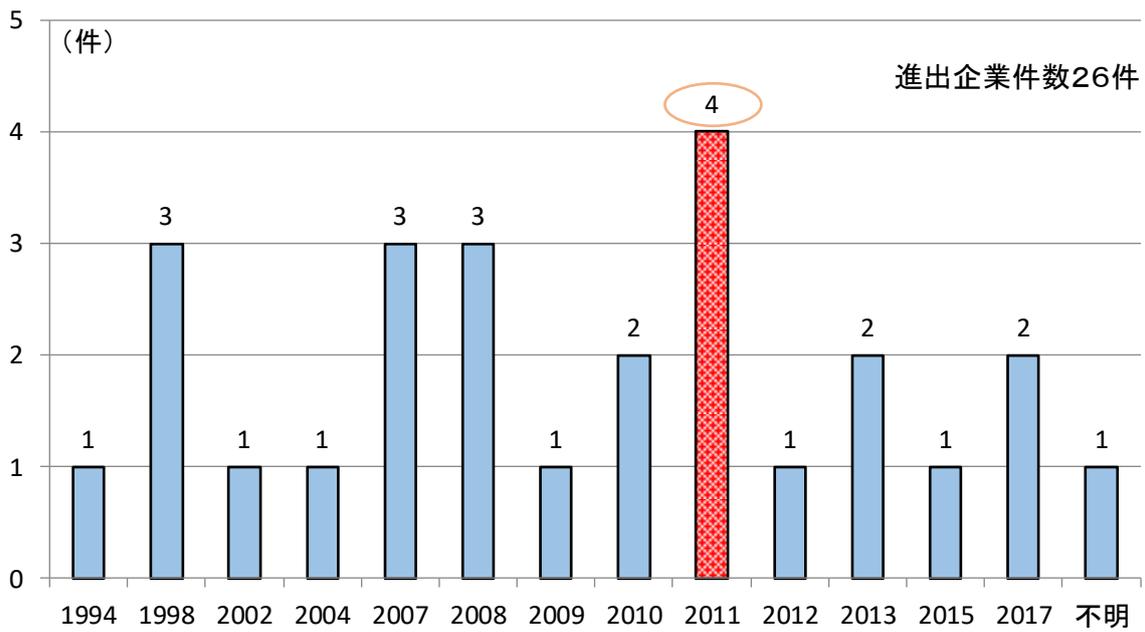
寄与度 (増加分) : アルミニウム及び同合金 (+2.3%)、

魚介類の粉、ミール及びペレット (+1.0%) 等

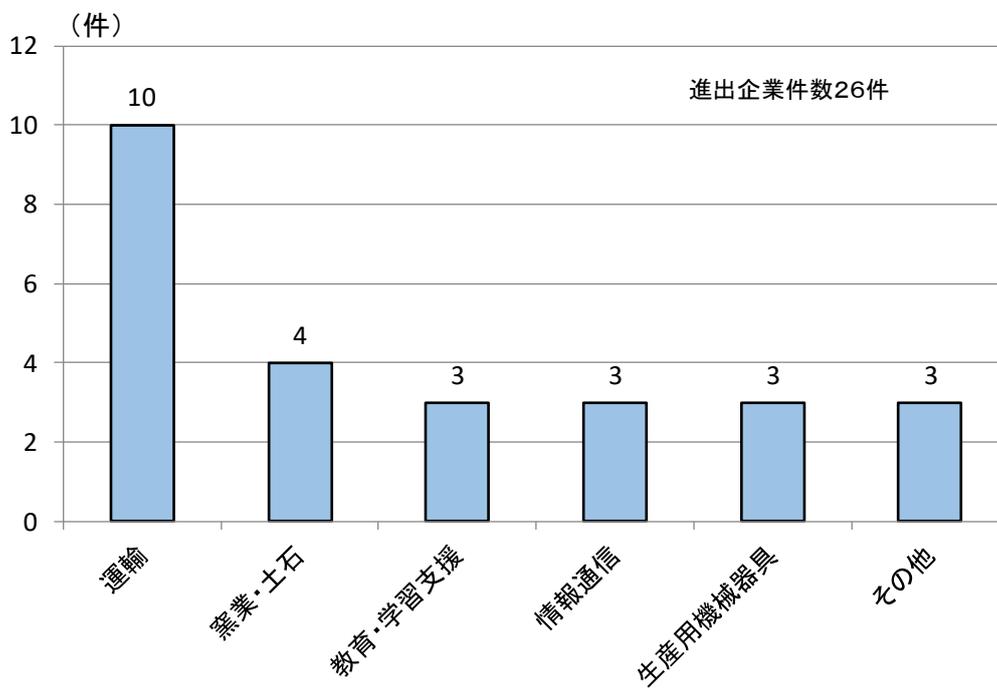
寄与度 (減少分) : 石油製品 (▲23.1%)、植物性油かす (▲4.3%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-14-5 九州企業のインドへの進出件数の推移



図表 2-14-6 インドに進出した九州企業の業種別内訳



図表 2-14-5～6 出所：(公財)九州経済調査協会「九州・山口地場企業の海外進出 2018」より九州経済産業局作成。

## 第15章 九州とEUの経済関係

### 1. EUの経済概況

名称	欧州連合 (European Union)
設立	1993年11月
体制	欧州理事会: 常任議長 ドナルド・トusk (Donald Tusk) 前ポーランド首相 EU理事会: 半年交替の輪番制議長国閣僚 (2019年前半ルーマニア、2019年後半フィンランド)
加盟国	28ヶ国: フランス、ドイツ、イタリア、ベルギー、オランダ、ルクセンブルク、英国、デンマーク、アイルランド、ギリシャ、スペイン、ポルトガル、オーストリア、スウェーデン、フィンランド、キプロス、チェコ、エストニア、ハンガリー、ラトビア、リトアニア、マルタ、ポーランド、スロバキア、スロベニア、ブルガリア、ルーマニア、クロアチア(但し、英国については、2016年6月の国民投票の結果を受け、離脱に向けて交渉中)

出所：外務省HP「各国・地域情勢」

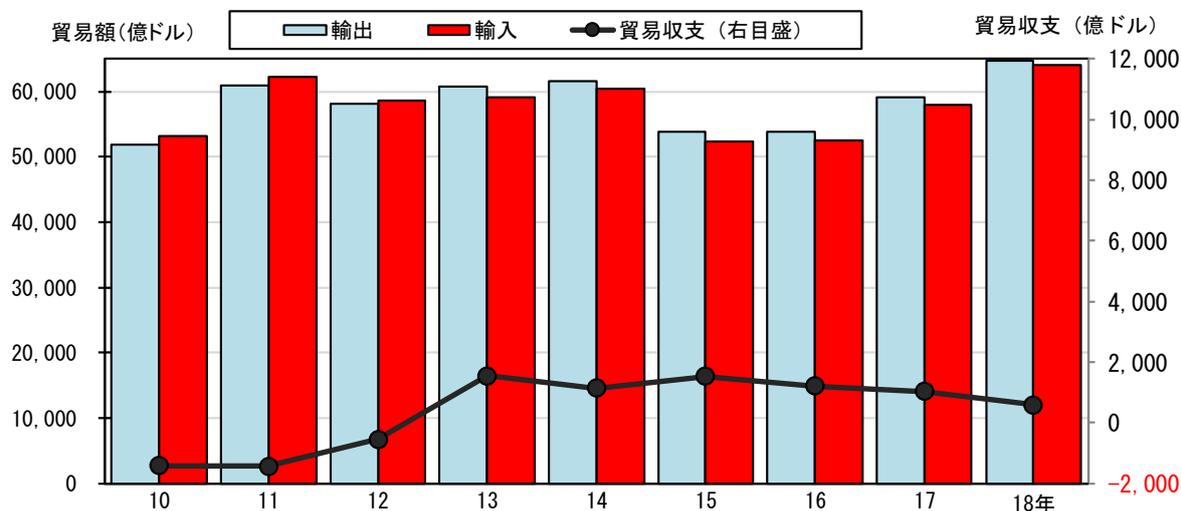
図表 2-15-1 世界の地域経済圏との比較 (2018年)

	加盟国	人口 (万人)	GDP (億米ドル)	GDP/人 (米ドル)	貿易額 (億米ドル)
東南アジア諸国連合 (ASEAN)	10か国	65,431	29,502	4,509	28,749
欧州連合 (EU)	28か国	51,193	187,085	36,545	128,785
北米自由貿易協定 (NAFTA)	3か国	49,824	235,320	47,230	61,267
南米共同市場 (MERCOSUR)	6か国	29,830	26,897	9,017	6,404

出所：UNCTADstat より九州経済産業局作成。

備考：NAFTA 加盟国（アメリカ、カナダ、メキシコ）、MERCOSUR 加盟国（アルゼンチン、ボリビア、ブラジル、パラグアイ、ウルグアイ、ベネズエラ）

図表 2-15-2 EUの対外貿易額の推移



出所：UNCTADstat より、九州経済産業局作成。

## 2. 九州とEUの経済動向

### ● 2018年の九州の対EU貿易額

輸出総額：5,160億円（前年比12.2%減） → 5年ぶりのマイナス

輸入総額：1,788億円（前年比12.3%増） → 2年連続のプラス

差引額：3,372億円（前年比▲912億円）

### ● 輸出品目（輸出額多い順）自動車、事務用機器、二輪自動車類、船舶類、半導体等電子部品

〈寄与度↑〉二輪自動車類品（+2.6%）、映像機器（+2.1%）

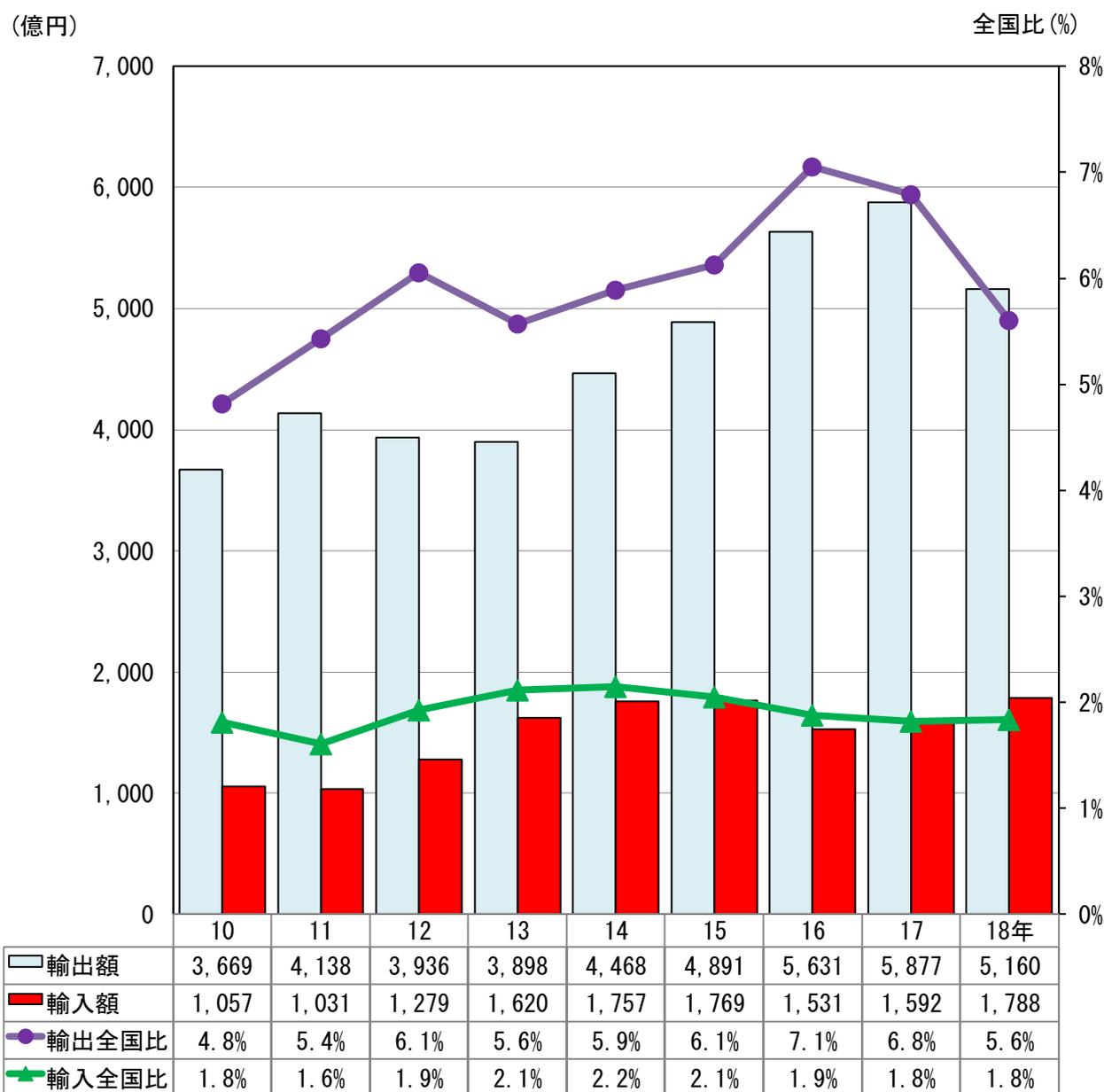
〈寄与度↓〉自動車（▲15.6%）、船舶類（▲6.8%）

### ● 輸入品目（輸入額多い順）航空機類、原動機、自動車の部分品、銅及び同合金

〈寄与度↑〉航空機類（+10.3%）、銅及び同合金（+4.6%）

〈寄与度↓〉原動機（▲8.8%）、電気計測機器（▲2.5%）

図表 2-15-3 九州の対EU貿易額の推移

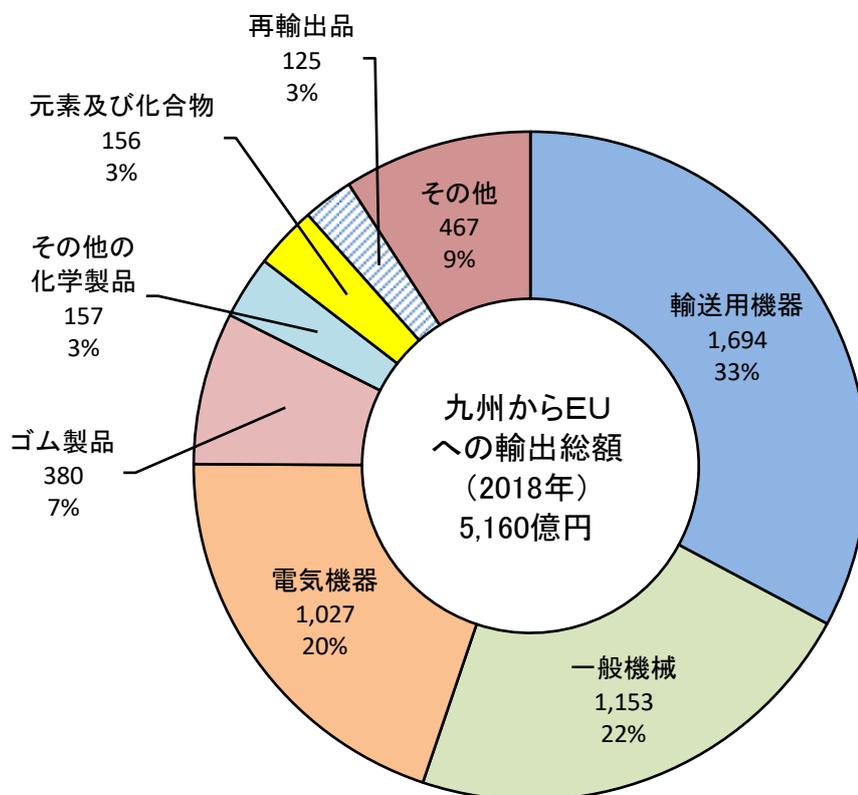


出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-15-4 九州から EU への輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



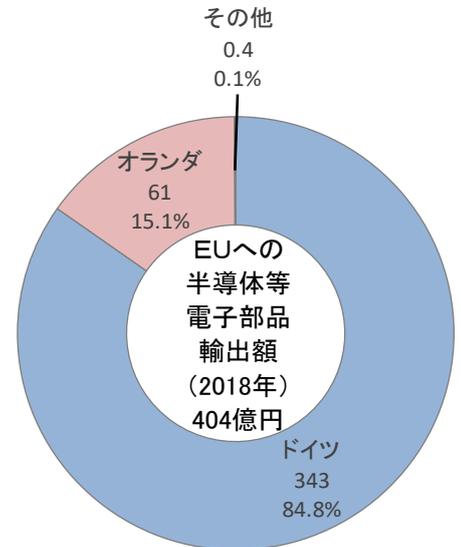
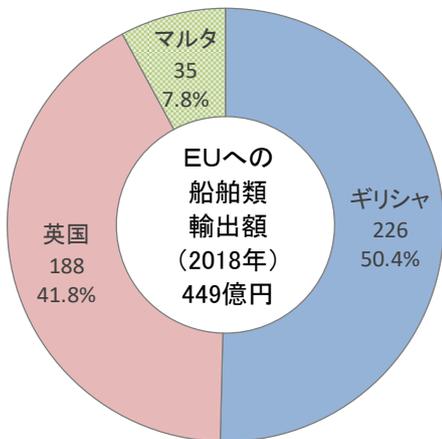
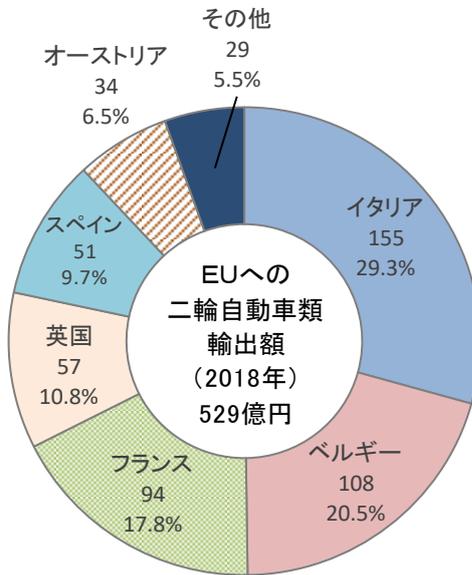
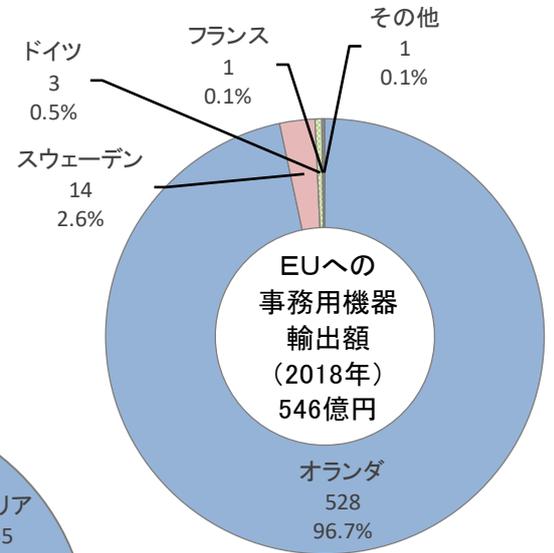
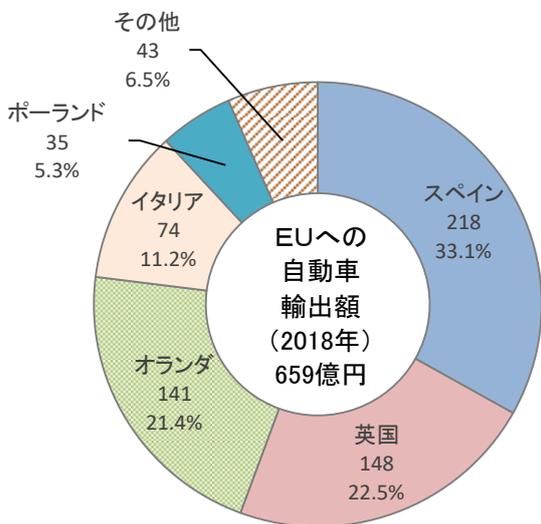
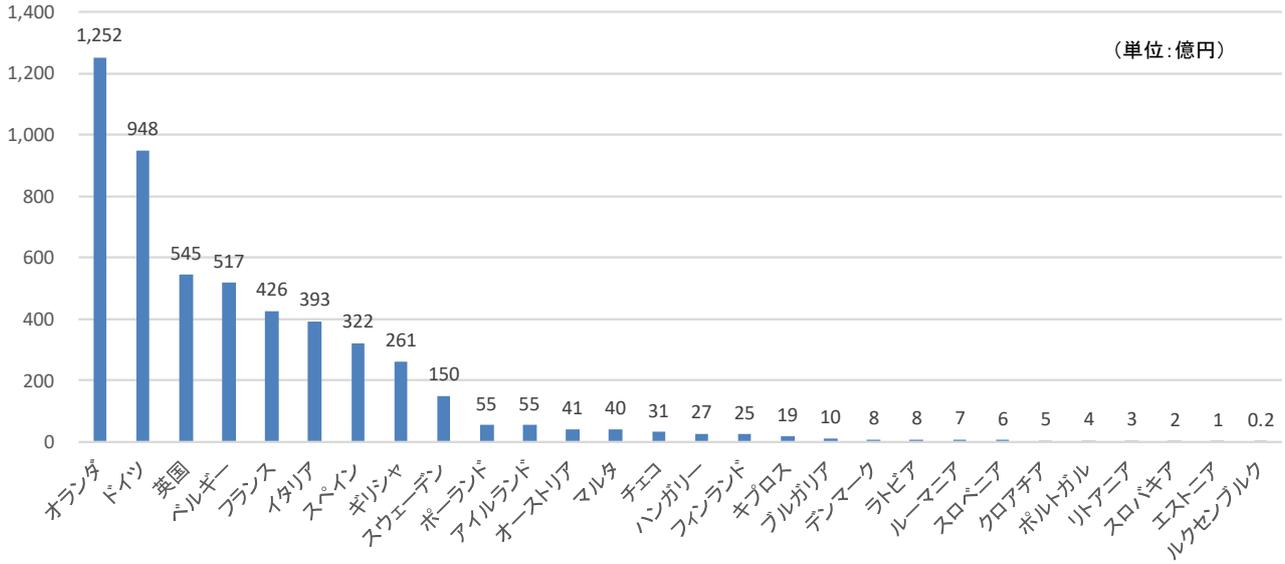
主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
自動車	輸送用機器	659	12.8%	▲58.1%	4.8%
事務用機器	一般機械	546	10.6%	9.5%	14.4%
二輪自動車類	輸送用機器	529	10.2%	41.1%	30.8%
船舶類	輸送用機器	449	8.7%	▲47.1%	33.4%
半導体等電子部品	電気機器	404	7.8%	▲5.7%	20.4%
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	369	7.1%	20.6%	46.5%
映像機器	電気機器	313	6.1%	64.9%	35.7%
ポンプ及び遠心分離機	一般機械	193	3.7%	33.2%	8.8%
自動車用等の電気機器	電気機器	147	2.9%	—	10.9%
有機化合物	元素及び化合物	117	2.3%	▲2.8%	4.5%
その他		1,433	27.8%	—	—
総計		5,160	100.0%	▲12.2%	5.6%

寄与度 (増加分)：二輪自動車類 (+2.6%)、映像機器 (+2.1%) 等

寄与度 (減少分)：自動車 (▲15.6%)、船舶類 (▲6.8%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-15-5 九州から EU への国別輸出額

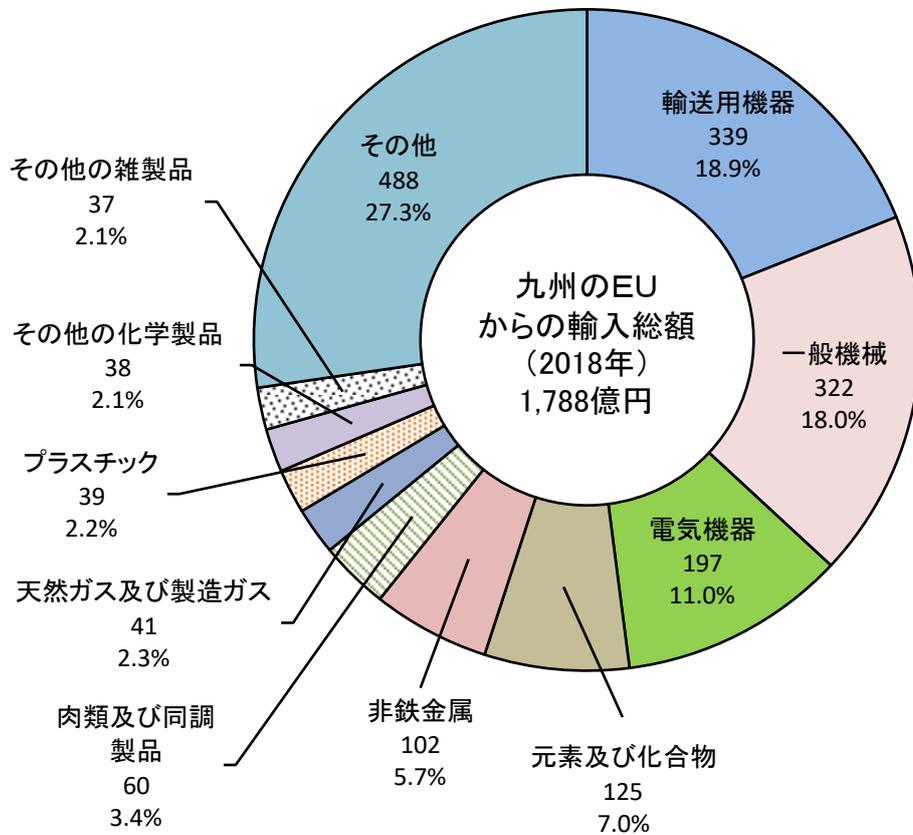


出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-15-6 九州の EU からの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



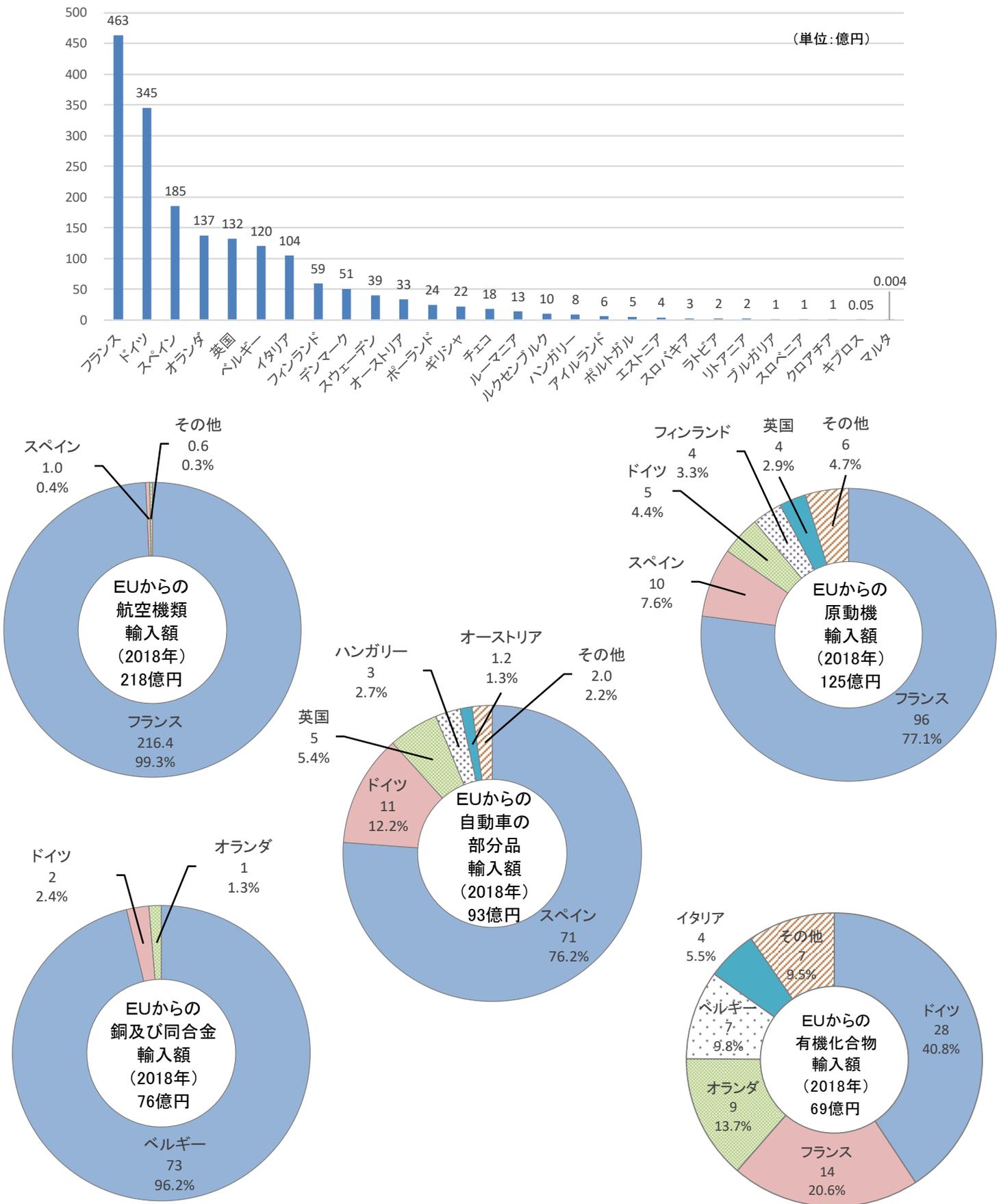
主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
航空機類	輸送用機器	218	12.2%	304.8%	12.4%
原動機	一般機械	125	7.0%	▲52.8%	1.8%
自動車の部分品	輸送用機器	93	5.2%	13.1%	6.1%
銅及び同合金	非鉄金属	76	4.2%	3297.9%	58.0%
有機化合物	元素及び化合物	69	3.9%	19.7%	1.4%
電気計測機器	電気機器	61	3.4%	▲39.2%	2.9%
無機化合物	元素及び化合物	56	3.1%	25.0%	7.1%
豚・いのししの肉	肉類及び同調製品	54	3.0%	1.3%	1.6%
石油ガス類	天然ガス及び製造ガス	41	2.3%	-	8.5%
ポンプ及び遠心分離機	一般機械	40	2.3%	▲7.0%	2.3%
その他		955	53.4%	-	-
総 額		1,788	100%	12.3%	1.8%

寄与度 (増加分)：航空機類 (+10.3%)、銅及び同合金 (+4.6%) 等

寄与度 (減少分)：原動機 (▲8.8%)、電気計測機器 (▲2.5%) 等

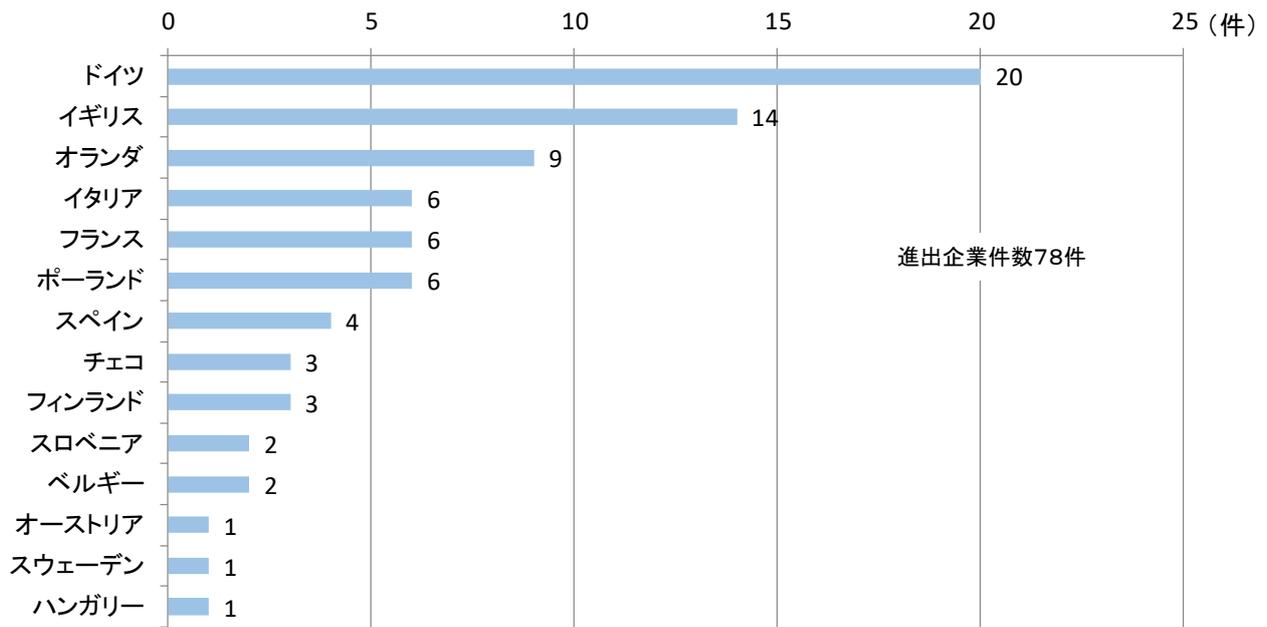
出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-15-7 九州の EU からの国別輸入額

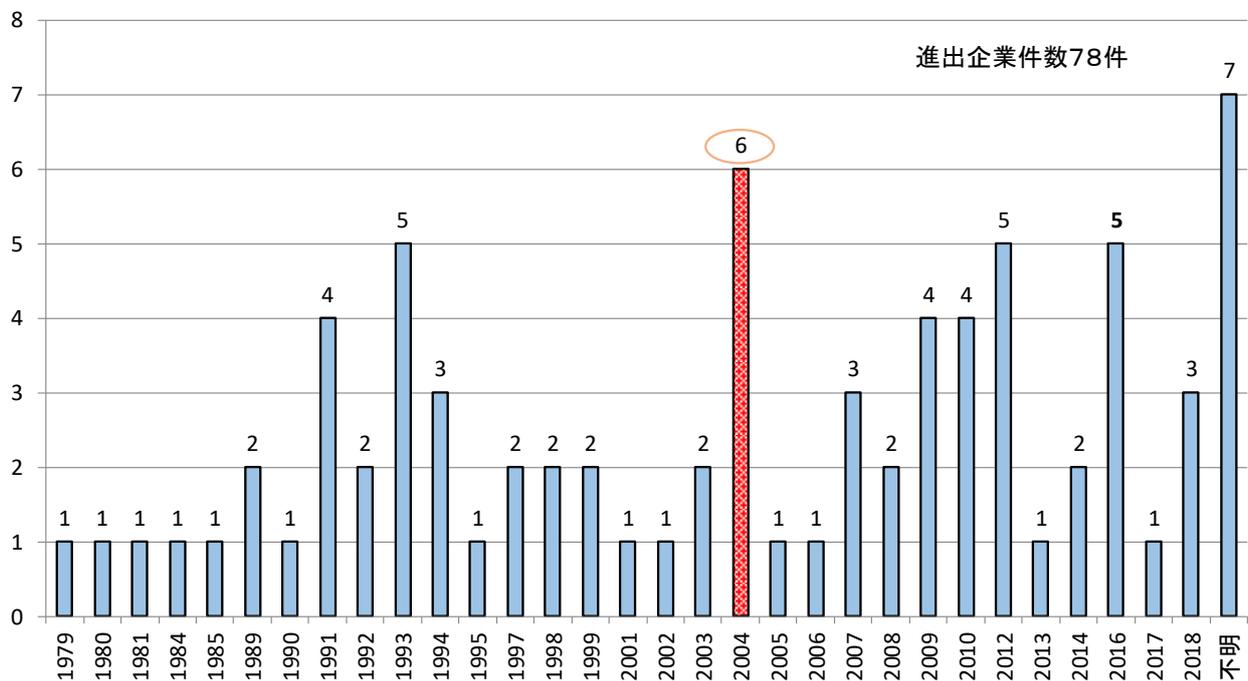


出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-15-8 九州企業の EU 各国への進出件数（国別）

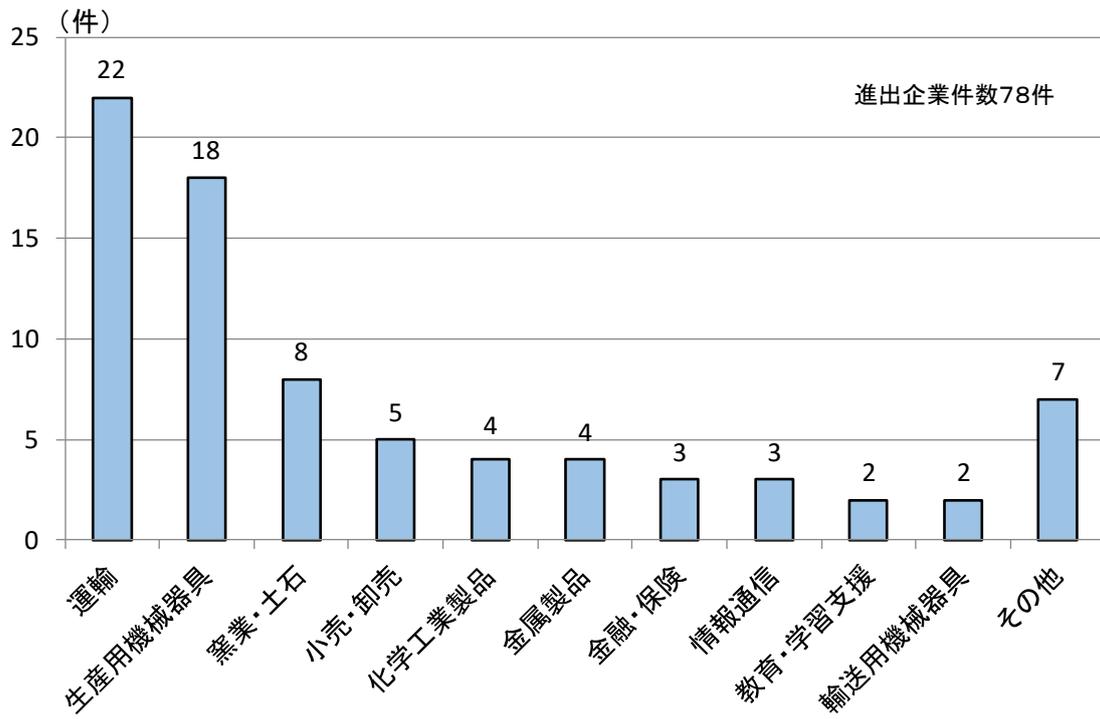


図表 2-15-9 九州企業の EU への進出件数の推移



図表 2-15-8～9 出所：（公財）九州経済調査協会「九州・山口地場企業の海外進出 2018」より九州経済産業局作成。

図表 2-15-10 EUに進出した九州企業の業種別内訳



出所：（公財）九州経済調査協会「九州・山口地場企業の海外進出 2018」より九州経済産業局作成。

### 3. 九州と英国の経済動向

● 2018年の九州の対英国貿易額

輸出総額：545億円（前年比38.6%減） → 6年ぶりのマイナス

輸入総額：132億円（前年比4.1%減） → 3年連続のマイナス

差引額：413億円（前年比44.9%減）

● 輸出品目（輸出額多い順）船舶類、自動車、二輪自動車類

〈寄与度↑〉船舶類（+8.7%）、二輪自動車類（+2.1%）

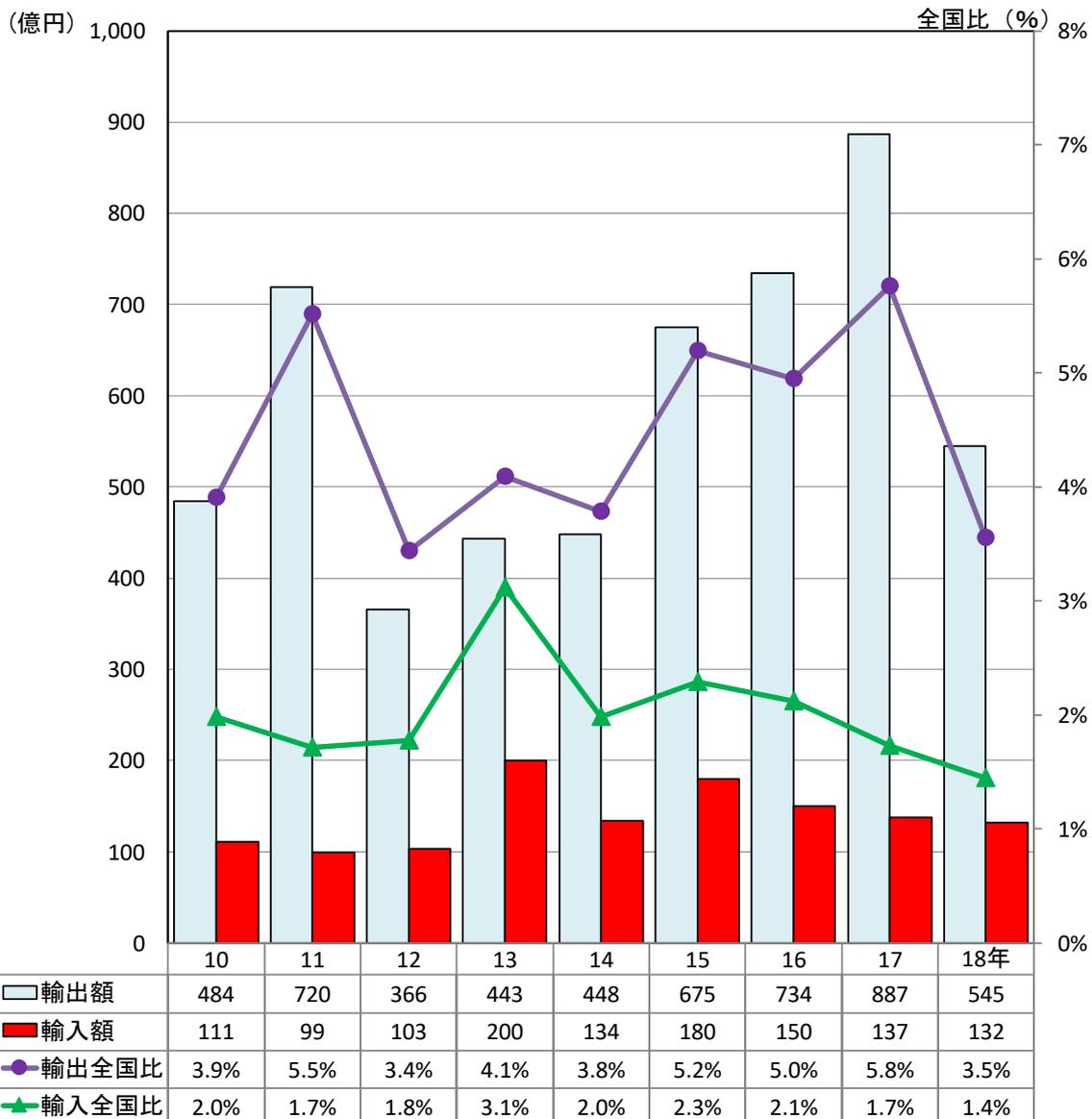
〈寄与度↓〉自動車（▲51.6%）、無機化合物（▲0.2%）

● 輸入品目（輸入額多い順）自動車、電気計測機器、音響・映像機器（含部品）

〈寄与度↑〉音響・映像機器（含部品）（+5.4%）、自動車（+4.7%）

〈寄与度↓〉電気計測機器（▲18.3%）、自動車の部分品（▲3.4%）

図表 2-15-11 九州の対英国貿易額の推移

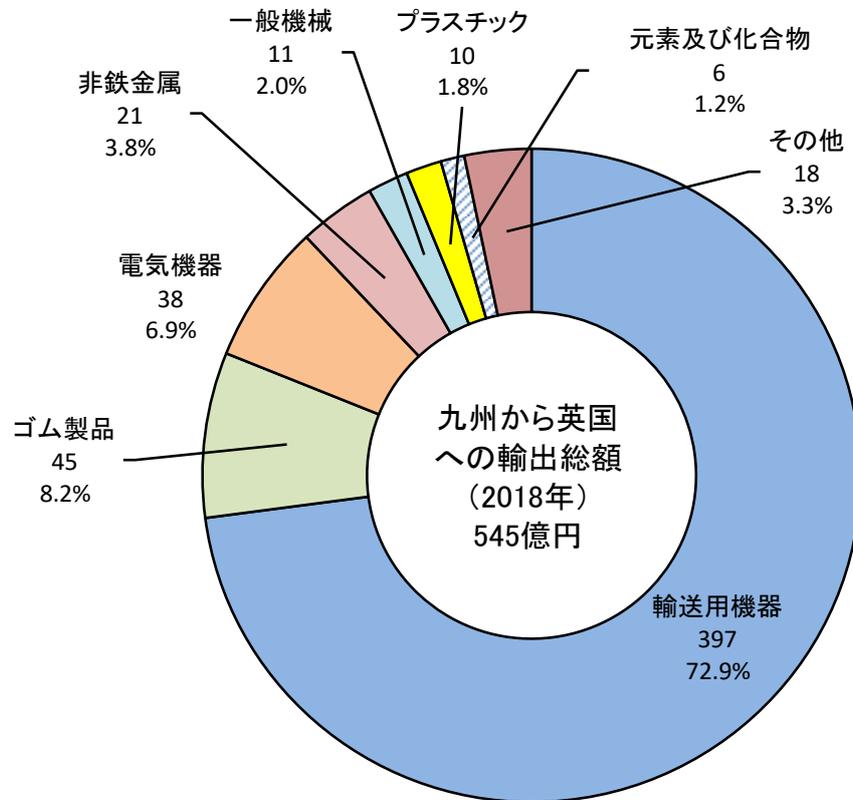


出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-15-12 九州から英国への輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
船舶類	輸送用機器	188	34.5%	70.3%	87.5%
自動車	輸送用機器	148	27.2%	▲75.5%	5.8%
二輪自動車類	輸送用機器	57	10.5%	49.3%	63.5%
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	44	8.1%	18.1%	46.1%
自動車用等の電気機器	電気機器	21	3.8%	9.8%	8.7%
チタン及び同合金	非鉄金属	18	3.4%	1.3%	49.3%
電気回路等の機器	電気機器	7	1.2%	265.6%	2.9%
有機化合物	元素及び化合物	6	1.1%	87.6%	2.2%
鉄道用車両	輸送用機器	4	0.7%	▲26.3%	0.4%
加熱用・冷却用機器	一般機械	4	0.7%	46.5%	2.1%
その他		49	9.0%	-	-
総計		545	100%	▲38.6%	3.5%

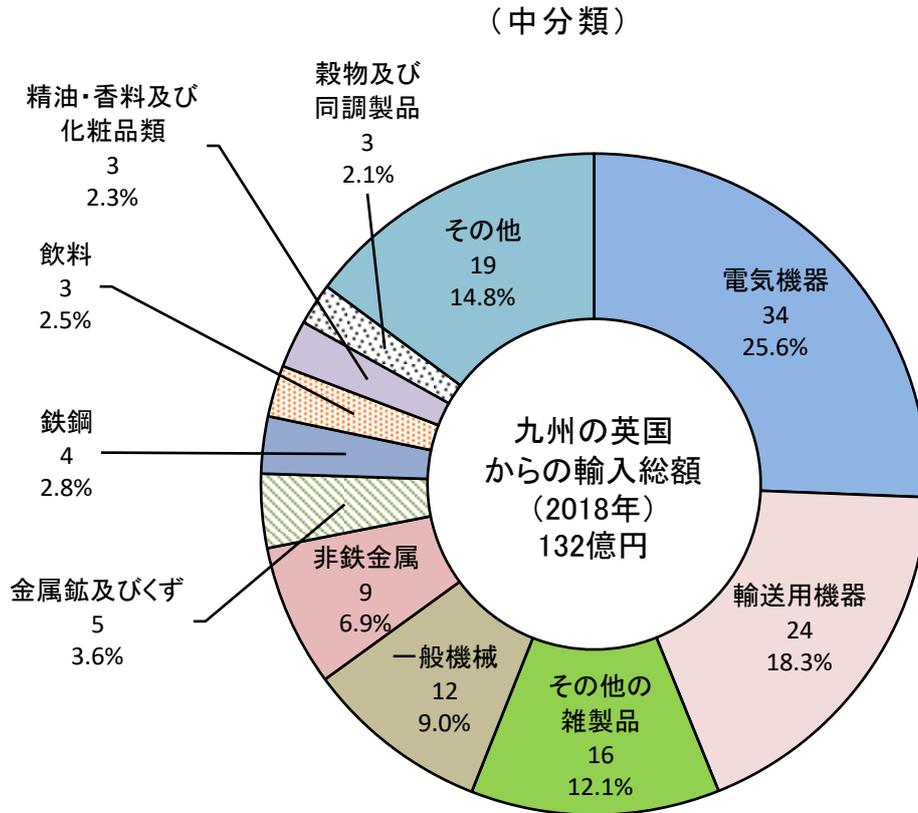
寄与度 (増加分) : 船舶類 (+8.7%)、二輪自動車類 (+2.1%) 等

寄与度 (減少分) : 自動車 (▲51.6%)、無機化合物 (▲0.2%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-15-13 九州の英国からの輸入品目

(単位：億円、%)



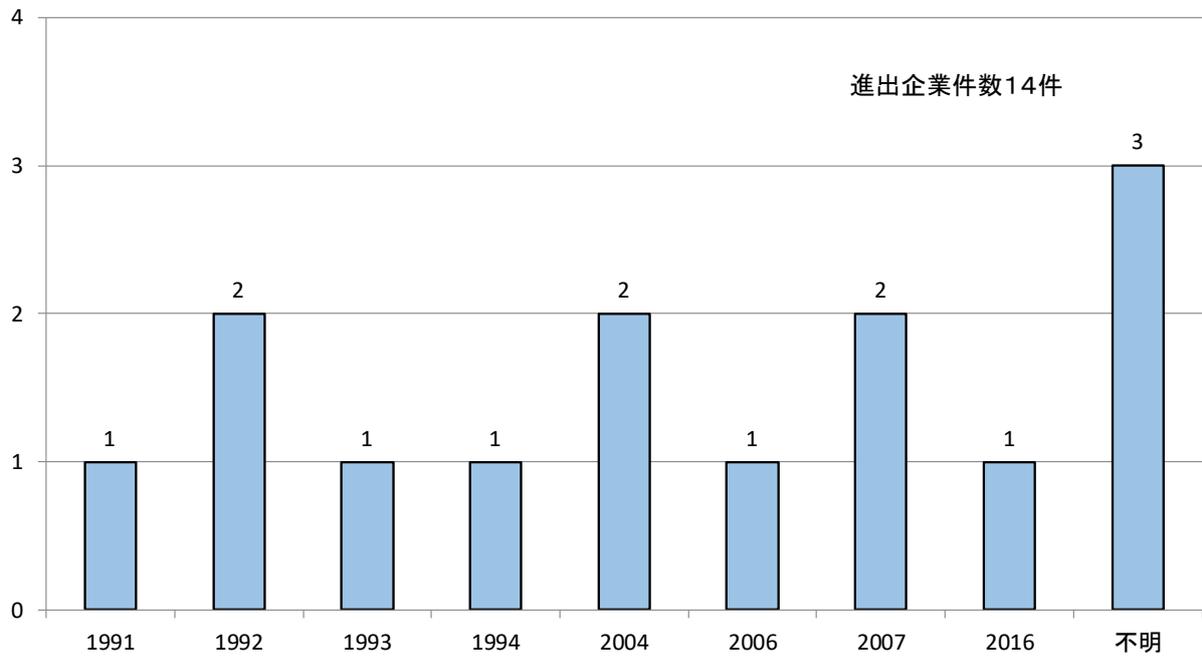
主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
自動車	輸送用機器	16	12.4%	65.7%	1.0%
電気計測機器	電気機器	13	9.9%	▲65.8%	4.2%
音響・映像機器(含部品)	電気機器	10	7.2%	339.6%	11.5%
ニッケル及び同合金	非鉄金属	8	6.1%	▲21.2%	9.6%
自動車の部分品	輸送用機器	5	3.8%	▲48.0%	6.5%
非鉄卑金属くず	金属鉱及びびくず	4	3.0%	269.8%	17.1%
原動機	一般機械	4	2.8%	▲25.6%	0.3%
美術品・収集品及びこつとう	その他の雑製品	4	2.8%	19685.2%	8.4%
合金鉄	鉄鋼	4	2.7%	49.4%	22.9%
アルコール飲料	飲料	3	2.5%	▲10.5%	1.0%
その他		62	46.8%	-	-
総 額		132	100%	▲4.1%	1.4%

寄与度 (増加分) : 音響・映像機器 (含部品) (+5.4%)、自動車 (+4.7%) 等

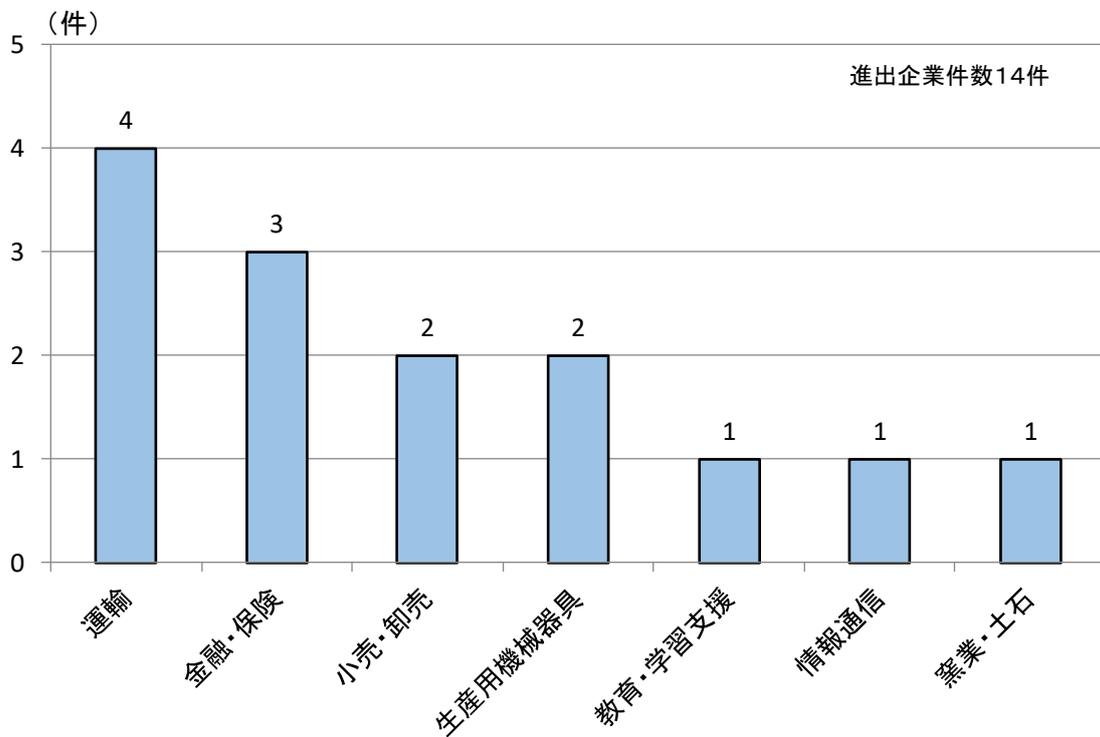
寄与度 (減少分) : 電気計測機器 (▲18.3%)、自動車の部分品 (▲3.4%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-15-14 九州企業の英国への進出件数の推移



図表 2-15-15 英国に進出した九州企業の業種別内訳



図表 2-15-14～15 出所：(公財)九州経済調査協会「九州・山口地場企業の海外進出 2018」より九州経済産業局作成。

## 第16章 九州と米国の経済関係

### 1. 米国の経済概況

国名	アメリカ合衆国
面積	371.8万平方マイル(962.8万平方キロメートル、50州・日本の約25倍) (内水面18.1万24平方マイル)
人口	3億875万人(2010年4月 米国国勢局)
首都	ワシントンD.C.
言語	主として英語(法律上の定めはない)
宗教	信教の自由を憲法で保障、主にキリスト教
政体	大統領制、連邦制(50州他)
主要産業	工業(全般)、農林業(小麦、トウモロコシ、大豆、木材他)、金融・保険・不動産業、サービス業

出所：外務省HP「各国・地域情勢」

図表 2-16-1 米国のマクロ経済

	単位	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
実質GDP成長率	前年比(%)	2.5	2.9	1.6	2.4	2.9
名目GDP総額	10億ドル	17,527	18,225	18,715	19,519	20,580
一人当たりGDP(名目)	ドル	55,010	56,787	57,901	60,000	62,869
輸出額	億ドル	23,767	22,667	22,158	23,525	25,013
	前年比(%)	3.6	▲ 4.6	▲ 2.2	6.2	6.3
輸入額	億ドル	28,662	27,652	27,188	29,027	31,290
	前年比(%)	4.0	▲ 3.5	▲ 1.7	6.8	7.8
貿易収支	億ドル	▲ 4,896	▲ 4,985	▲ 5,030	▲ 5,501	▲ 6,277
対日貿易収支	億ドル	▲ 676	▲ 691	▲ 688	▲ 688	▲ 672
鉱工業生産指数	前年比(%)	3.1	▲ 1.0	▲ 2.0	2.3	3.9
失業率	(%)	6.2	5.3	4.9	4.4	3.9
消費者物価	前年比(%)	1.6	0.1	1.3	2.1	2.4
直接投資受入額	億ドル	2,017	4,676	4,718	2,773	2,536*
為替レート(1ドル)	円	105.94	121.04	108.79	112.17	110.42

出所：内閣府「海外経済データ月次アップデート」(令和元年10月)、\*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)から九州経済産業局作成。

## 2. 九州と米国の経済動向

### ● 2018年の九州の対米貿易額

輸出総額：9,405億円（前年比15.7%減） → 3年ぶりのマイナス

輸入総額：4,477億円（前年比34.6%増） → 2年連続のプラス

差引額：4,928億円（前年比▲2,902億円）

### ● 輸出品目（輸出額多い順）自動車、事務用機器、ゴムタイヤ及びチューブ

〈寄与度↑〉映像機器（+1.1%）、二輪自動車類（+1.0%）

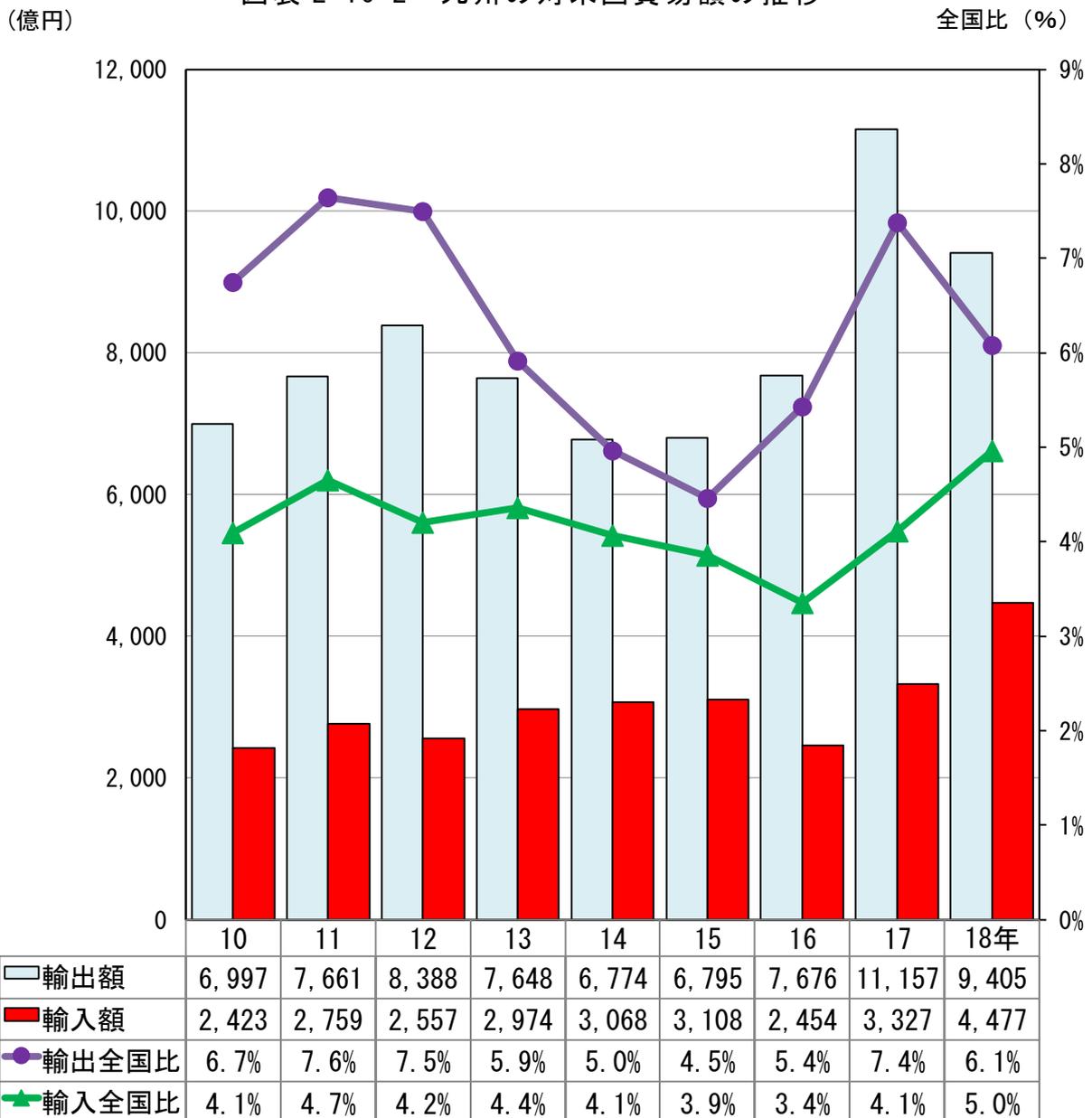
〈寄与度↓〉自動車（▲16.7%）、鉄鋼のフラットロール製品（▲1.0%）

### ● 輸入品目（輸入額多い順）とうもろこし、原油及び粗油、石油ガス類

〈寄与度↑〉原油及び粗油（+15.0%）、とうもろこし（+6.0%）

〈寄与度↓〉米（▲1.0%）、電気計測機器（▲0.5%）

図表 2-16-2 九州の対米貿易額の推移

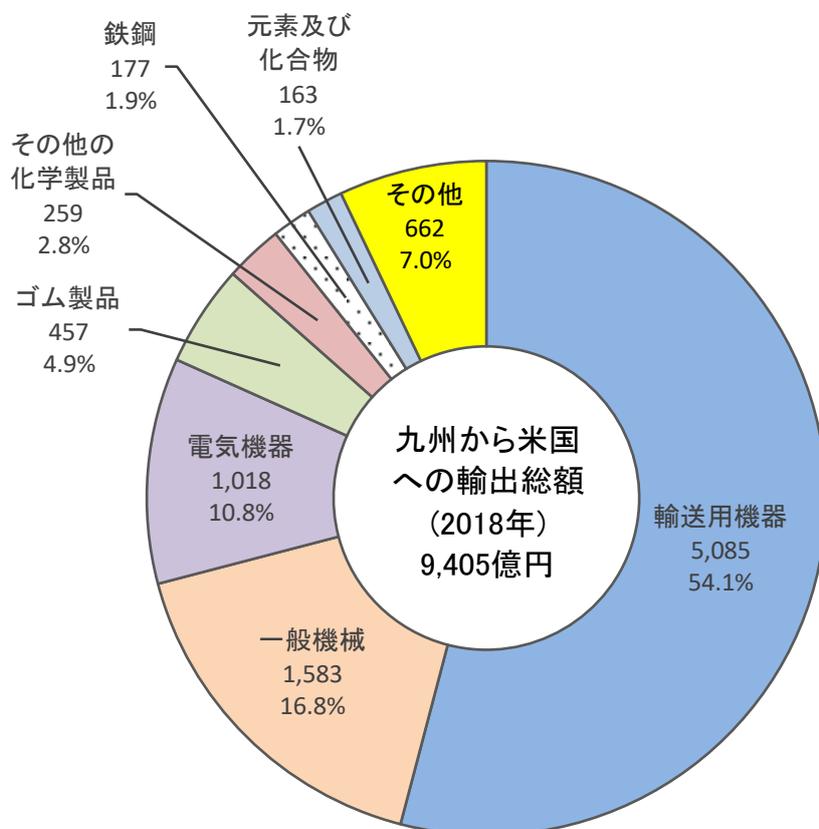


出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-16-3 九州から米国への輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
自動車	輸送用機器	4,508	47.9%	▲29.2%	10.0%
事務用機器	一般機械	570	6.1%	7.6%	15.3%
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	412	4.4%	11.6%	32.6%
原動機	一般機械	403	4.3%	13.0%	4.4%
二輪自動車類	輸送用機器	374	4.0%	41.0%	36.4%
映像機器	電気機器	361	3.8%	50.4%	26.2%
半導体等電子部品	電気機器	250	2.7%	▲14.3%	10.7%
自動車の部分品	輸送用機器	203	2.2%	▲23.6%	2.2%
自動車用等の電気機器	電気機器	139	1.5%	▲21.7%	7.6%
建設用・鉱山用機械	一般機械	135	1.4%	9.4%	3.4%
その他		2,052	21.8%	-	-
<b>総額</b>		<b>9,405</b>	<b>100%</b>	<b>-15.7%</b>	<b>6.1%</b>

寄与度 (増加分)：映像機器 (+1.1%)、二輪自動車類 (+1.0%) 等

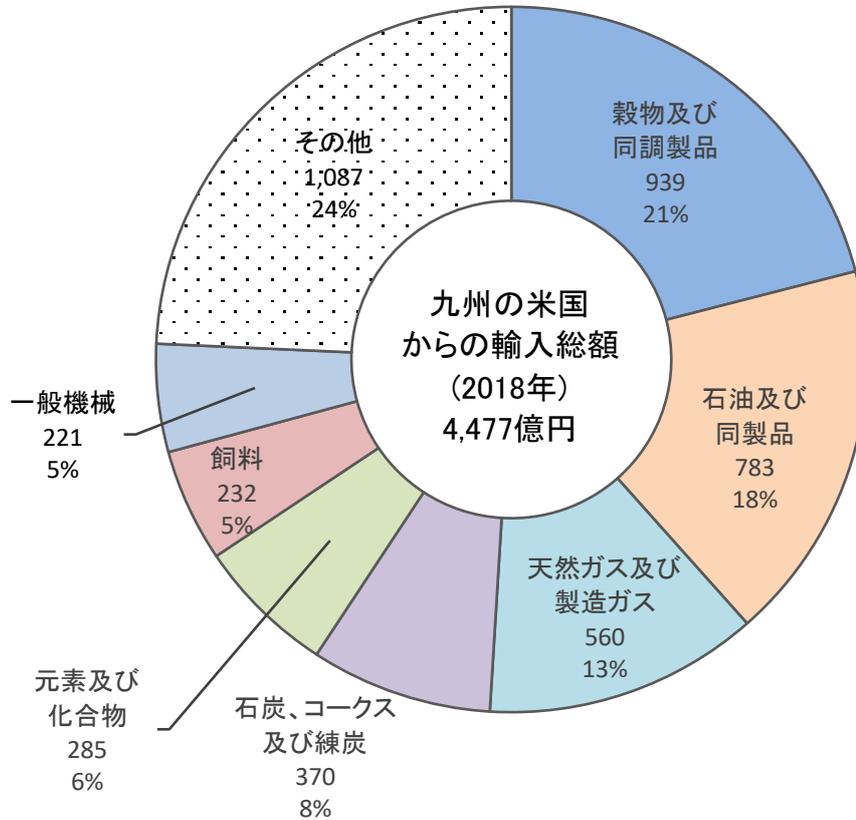
寄与度 (減少分)：自動車 (▲16.7%)、鉄鋼のフラットロール製品 (▲1.0%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-16-4 九州の米国からの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



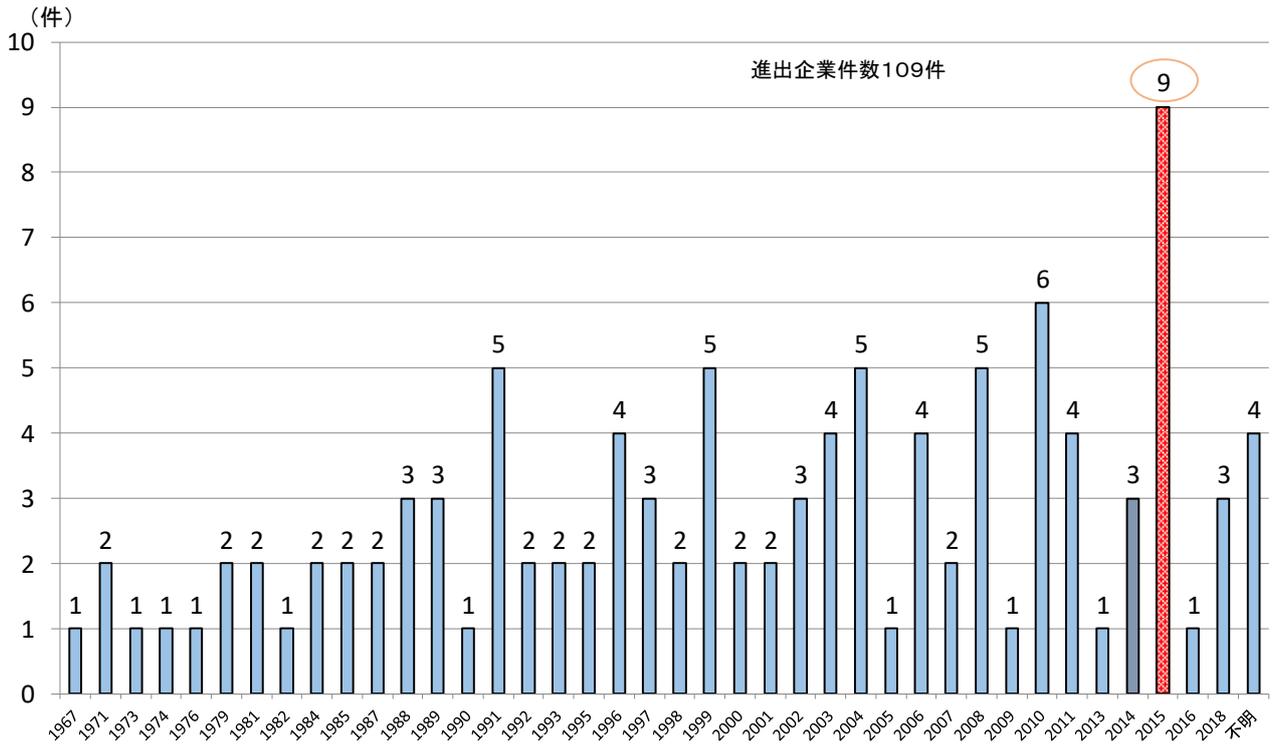
主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
とうもろこし	穀物及び同調製品	777	17.4%	34.4%	22.7%
原油及び粗油	石油及び同製品	630	14.1%	387.6%	39.7%
石油ガス類	天然ガス及び製造ガス	560	12.5%	36.0%	9.6%
石炭	石炭、コークス及び練炭	370	8.3%	72.5%	18.9%
石油製品	石油及び同製品	153	3.4%	▲8.0%	11.8%
有機化合物	元素及び化合物	143	3.2%	18.5%	4.4%
無機化合物	元素及び化合物	142	3.2%	57.5%	8.8%
原動機	一般機械	137	3.0%	43.4%	1.9%
魚介類	魚介類及び同調製品	136	3.0%	8.6%	9.0%
小麦及びメスリン	穀物及び同調製品	110	2.5%	12.6%	12.6%
その他		1,321	29.5%	-	-
総額		4,477	100%	34.6%	5.0%

寄与度 (増加分) : 原油及び粗油 (+15.0%)、とうもろこし (+6.0%) 等

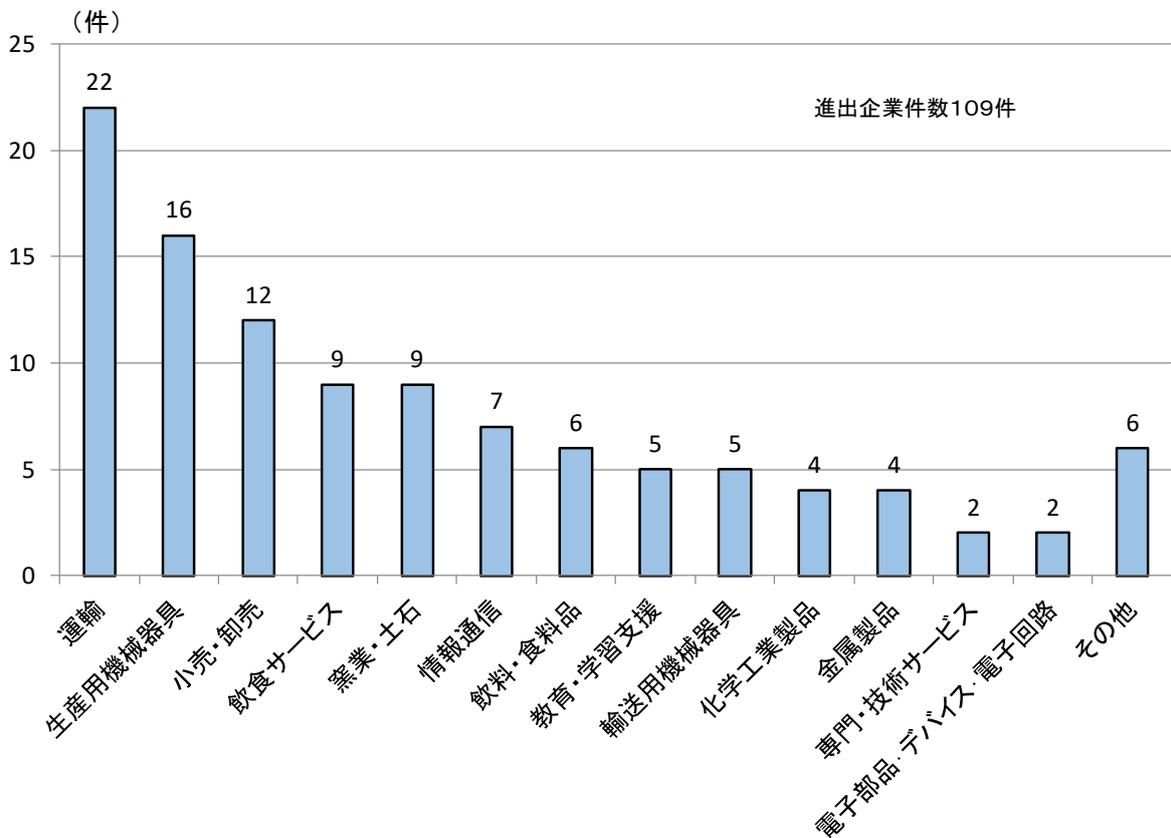
寄与度 (減少分) : 米 (▲1.0%)、電気計測機器 (▲0.5%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-16-5 九州企業の米国への進出件数の推移



図表 2-16-6 米国に進出した九州企業の業種別内訳



図表 2-16-5～6 出所：(公財)九州経済調査協会「九州・山口地場企業の海外進出 2018」より九州経済産業局作成。

## 第17章 九州とオーストラリアの経済関係

### 1. オーストラリアの経済概況

国名	オーストラリア連邦
面積	769万2,024km <sup>2</sup> (日本の約20倍、アラスカを除く米とほぼ同じ)
人口	約2,499万人(2018年6月。豪州統計局)
首都	キャンベラ
人種	アングロサクソン系等欧州系が中心。その他に中東系、アジア系、先住民など。
言語	英語
宗教	キリスト教52%、無宗教30%(2016年国勢調査)
政体	立憲君主制
主要産業	第一次産業2.6%、第二次産業23.4%、第三次産業74.0% 農林水産業(2.6%)、鉱業(6.4%)、製造業(6.3%)、建設業(8.1%)、卸売・小売業(9.2%)、運輸・通信業(8.0%)、金融・保険業(9.5%)、専門職・科学・技術サービス(7.4%)など(2017-18年度のGDP産業別シェア、豪州統計局)

出所：外務省HP「各国・地域情勢」

図表 2-17-1 オーストラリアのマクロ経済

	単位	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
実質GDP成長率	前年比(%)	2.6	2.5	2.8	2.5	2.7
名目GDP総額	10億ドル	1,457	1,235	1,268	1,387	1,420
一人当たりGDP(名目)	ドル	61,653	51,497	51,979	55,974	56,420
輸出額	億ドル	2,404	1,880	1,926	2,315	2,581
	前年比(%)	1.2	▲ 6.2	3.5	16.6	14.4
輸入額	億ドル	2,383	2,073	1,985	2,209	2,368
	前年比(%)	3.3	4.4	▲ 3.2	7.9	10.0
貿易収支	億ドル	21	▲ 193	▲ 59	106	213
対日貿易収支	億ドル	268	143	85	164	233*
鉱工業生産指数	前年比(%)	4.4	1.6	1.9	1.0	3.7
失業率	(%)	6.1	6.1	5.7	5.6	5.3
消費者物価上昇率	前年比(%)	2.5	1.5	1.3	1.9	1.9
直接投資受入額	億ドル	632	451	392	445	580*
為替レート(1ドル)	豪ドル	1.11	1.33	1.35	1.30	1.34
為替レート(1豪ドル)	円	95.47	91.07	80.85	86.00	82.57

備考：貿易額については、表記載の為替レートで米ドルに換算

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」(令和元年10月)、\*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)より九州経済産業局作成。

## 2. 九州とオーストラリアの経済動向

### ● 2018年の九州の対オーストラリア貿易額

輸出総額： 1,084億円（前年比8.5%増） → 2年連続のプラス

輸入総額： 6,500億円（前年比11.0%増） → 2年連続のプラス

差引額： ▲5,417億円（前年比▲561億円）

### ● 輸出品目（輸出額多い順）自動車、ゴムタイヤ及びチューブ、映像機器

〈寄与度↑〉自動車（+6.4%）、映像機器（+3.0%）

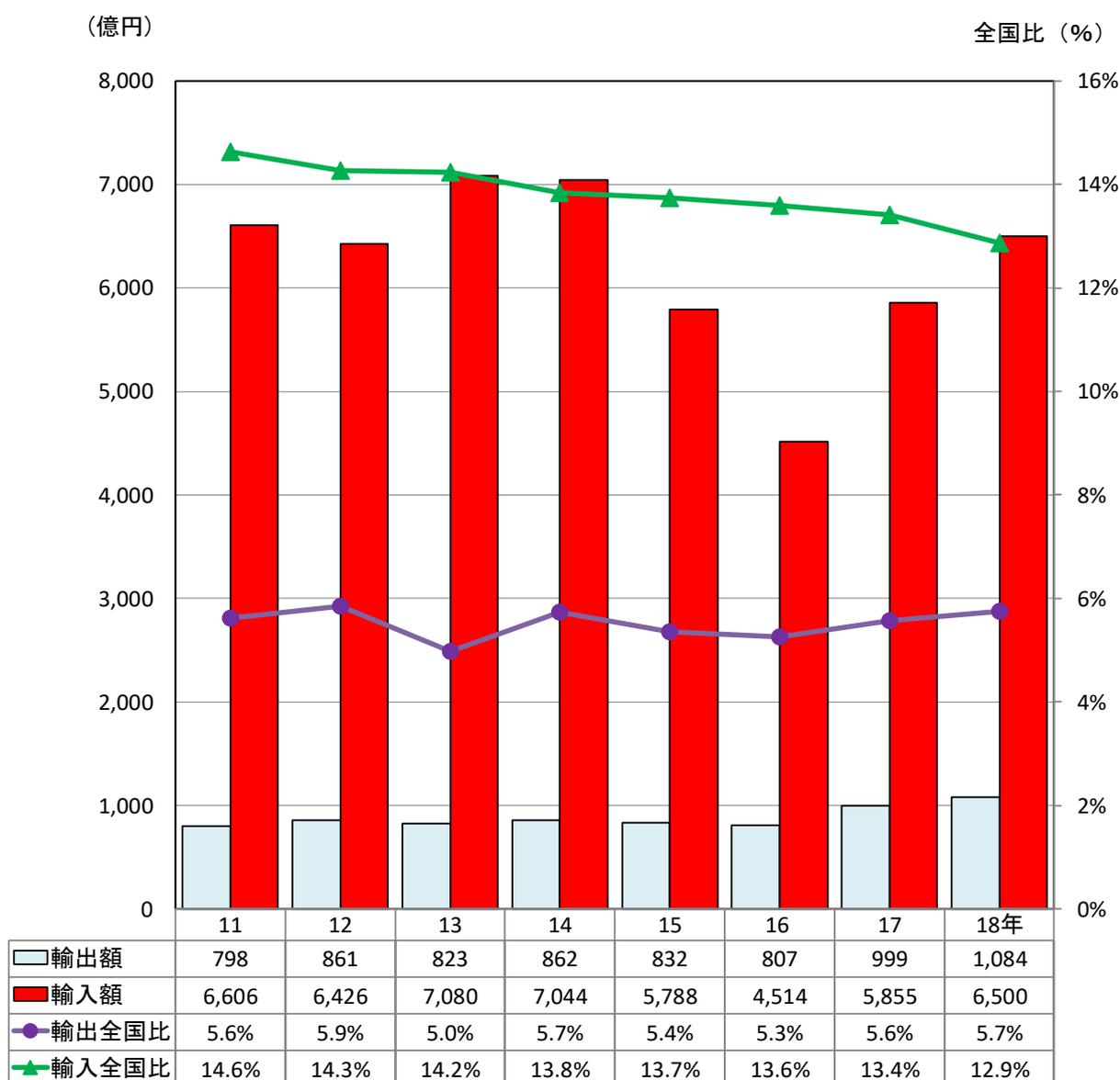
〈寄与度↓〉石油製品（▲1.0%）、セメント（▲0.7%）

### ● 輸入品目（輸入額多い順）石炭、石油ガス類、鉄鉱石

〈寄与度↑〉石油ガス類（+5.4%）、石炭（+2.3%）

〈寄与度↓〉砂糖（▲0.3%）、粗鉱物（除りん鉱石）（▲0.1%）

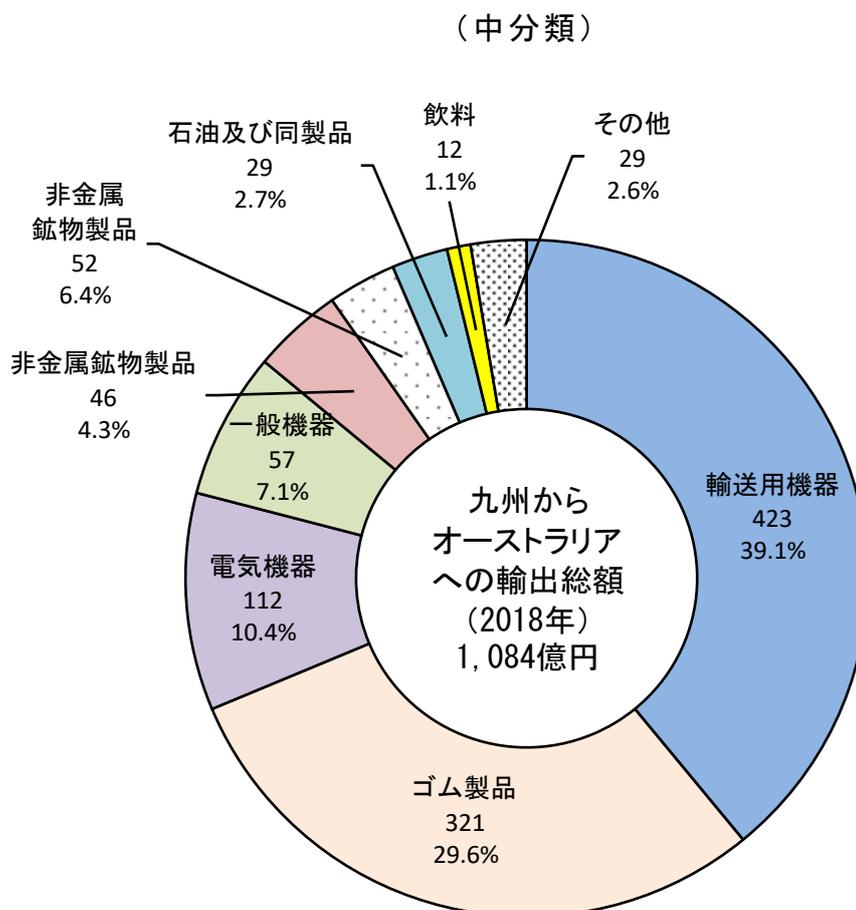
図表 2-17-2 九州の対オーストラリア貿易額の推移



出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-17-3 九州からオーストラリアへの輸出品目

(単位：億円、%)



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
自動車	輸送用機器	396	36.6%	19.2%	4.7%
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	321	29.6%	4.0%	59.0%
映像機器	電気機器	92	8.5%	47.3%	80.1%
セメント	非金属鉱物製品	44	4.1%	▲13.5%	66.6%
建設用・鉱山用機械	一般機械	31	2.9%	▲10.5%	4.3%
石油製品	石油及び同製品	29	2.7%	▲26.0%	1.1%
二輪自動車類	輸送用機器	27	2.5%	25.1%	22.9%
軌条及びその他の鉄道線路建設材	鉄鋼	25	2.3%	▲9.9%	79.3%
加熱用・冷却用機器	一般機械	23	2.1%	▲2.2%	13.9%
自動車用等の電気機器	電気機器	17	1.6%	▲18.9%	27.0%
その他		78	7.2%	-	-
総 額		1,084	100%	8.5%	5.7%

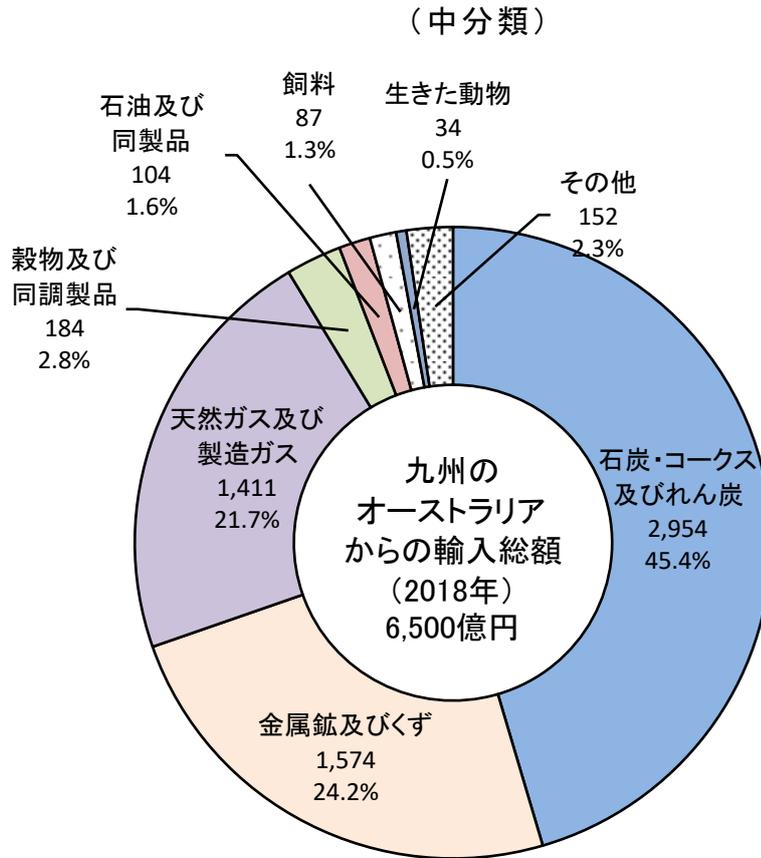
寄与度 (増加分) : 自動車 (+6.4%)、映像機器 (+3.0%) 等

寄与度 (減少分) : 石油製品 (▲1.0%)、セメント (▲0.7%) 等

出所 : 財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-17-4 九州のオーストラリアからの輸入品目

(単位：億円、%)



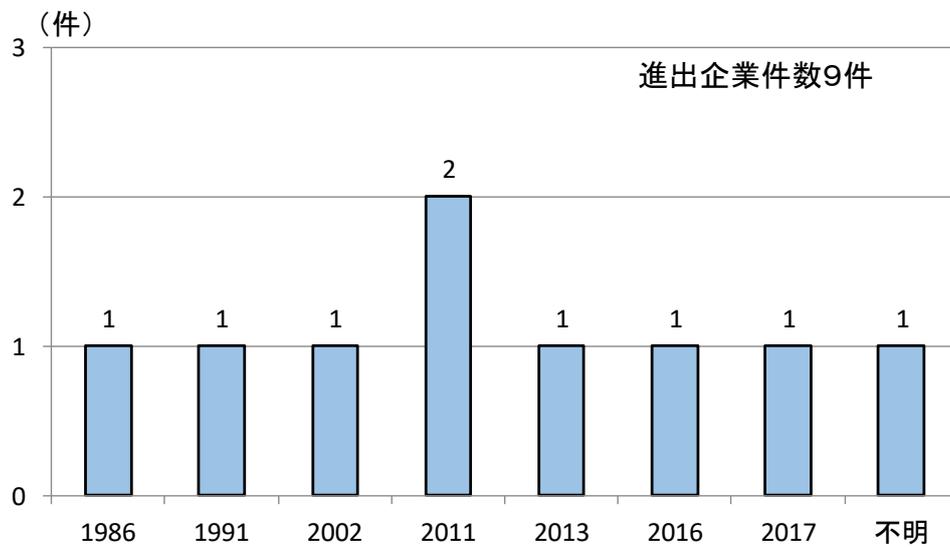
主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
石炭	石炭、コークス及び練炭	2,954	45.4%	4.7%	17.1%
石油ガス類	天然ガス及び製造ガス	1,411	21.7%	29.0%	8.3%
鉄鉱石	金属鉱及びびくず	932	14.3%	▲0.3%	18.2%
非鉄金属鉱	金属鉱及びびくず	633	9.7%	25.6%	31.5%
大麦及びはだか麦	穀物及び同調製品	117	1.8%	6.5%	45.2%
原油及び粗油	石油及び同製品	104	1.6%	145.1%	35.3%
小麦及びメスリン	穀物及び同調製品	33	0.5%	▲12.5%	11.0%
アルミニウム及び同合金	非鉄金属	31	0.5%	▲9.6%	2.3%
砂糖	糖類及び同調製品・はちみつ	28	0.4%	▲34.7%	8.8%
米	穀物及び同調製品	27	0.4%	2331.5%	45.8%
その他		230	3.5%	-	-
総 額		6,500	100.0%	11.0%	12.9%

寄与度 (増加分)：石油ガス類 (+5.4%)、石炭 (+2.3%) 等

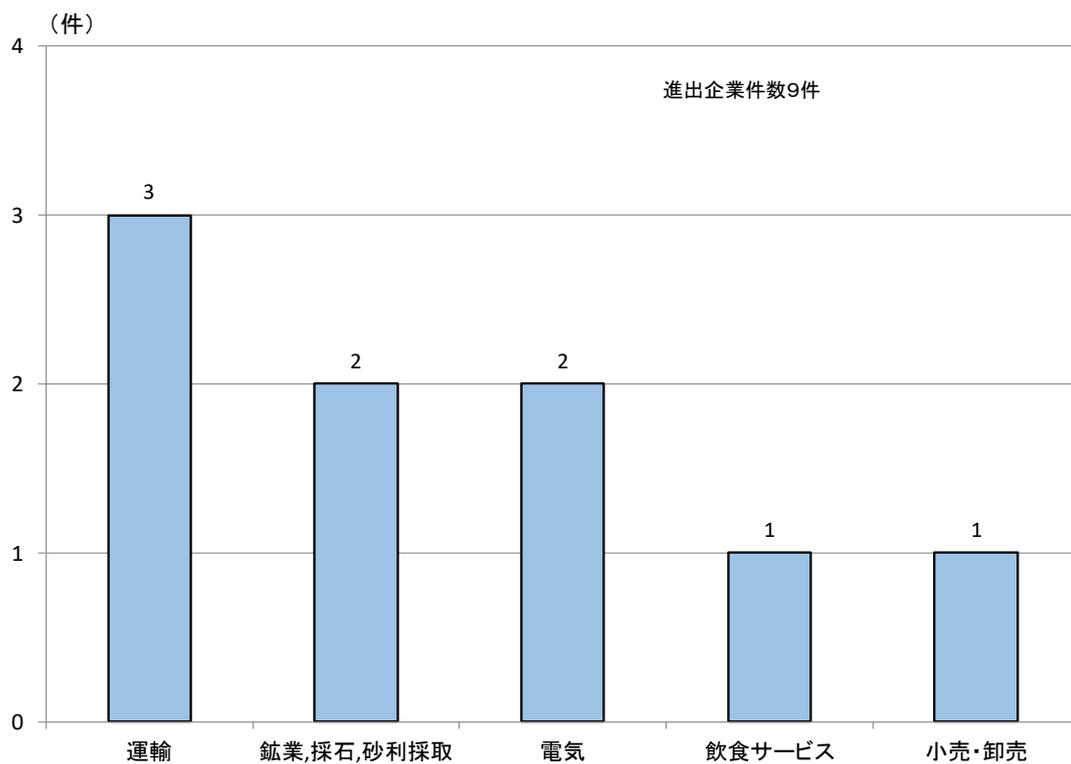
寄与度 (減少分)：砂糖 (▲0.3%)、粗鉱物 (除りん鉱石) (▲0.1%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-17-5 九州企業のオーストラリアへの進出件数の推移



図表 2-17-6 オーストラリアに進出した九州企業の業種別内訳



図表 2-17-5～6 出所：(公財)九州経済調査協会「九州・山口地場企業の海外進出 2018」より九州経済産業局作成。